

美 里 町
在宅介護実態調査
結果報告書

令和2年3月

目 次

I. 摘要	1
1. 趣旨及び方法等	1
2. 本報告書の留意点	1
II. 基本項目	2
1. 調査票の記入者	2
2. 世帯類型	2
3. 調査対象者の性別	2
4. 調査対象者の年齢	3
5. 要介護度	3
6. 家族等による介護の状況	3
7. 主な介護者の続柄	4
8. 主な介護者の性別	4
9. 主な介護者の年齢	4
III. 調査結果の概要	5
1. 施設等への入所・入居の検討状況からの分析	5
2. 主な介護者の介護継続の見込みからの分析	10
IV. 項目別集計結果	20
1. 調査対象者本人について	20
(1) 現在抱えている傷病	20
(2) 介護保険サービス利用の有無	22
(3) 利用回数等	23
(4) サービス未利用の理由	26
(5) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用	27
(6) 今後必要と感じる介護保険サービス以外の支援・サービス	28
(7) 訪問診療の利用の有無	29
(8) 家族等の介護の有無と程度	30
2. 主な介護者について	31
(1) 介護を理由とした退職の有無	31
(2) 現在行っている介護	32
(3) 不安に感じる介護等	34
(4) 現在の勤務形態	36
(5) 働き方の調整等	37
(6) 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤務先の支援	38
(7) 働きながらの介護継続の見込み	39

I. 摘要

1. 趣旨及び方法等

本調査は、要支援・要介護高齢者のサービス利用状況、介護環境等の調査項目を通じ、在宅介護をめぐる課題、ニーズ等を把握し、高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画策定等の基礎資料とするために実施したものである。

調査の概要

項目	内 容
調査対象	在宅で生活している要支援・要介護者
配布数等	配布数：750 有効回収数：566 有効回収率：75.5%
調査方法	郵送方式による配布・回収
調査時期	令和2年1月
調査地域	美里町全域

2. 本報告書の留意点

本報告書の留意点は次のとおりとなる。

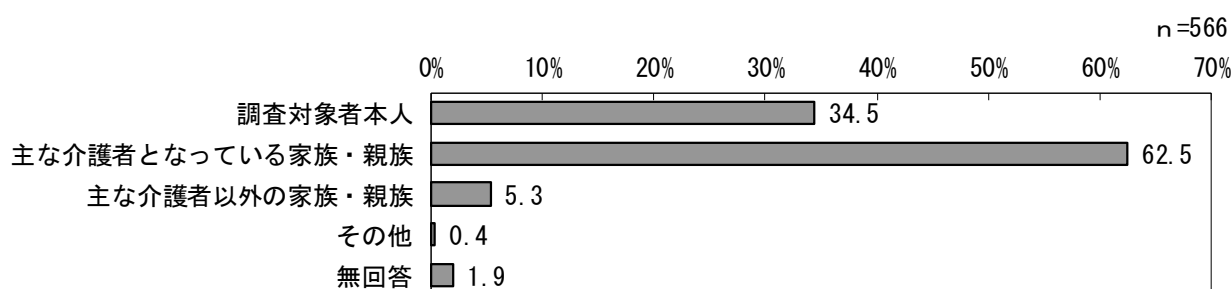
- ・比率は百分率（％）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100％を上下する場合がある。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率は“n=〇〇〇”を100％として算出した。
- ・【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問のため、各回答の合計比率は100％を超える場合がある。また、図表において無回答について省略している。
- ・問の中には回答を限定する問があり、回答者の数が少ない問が含まれる。

Ⅱ．基本項目

回答者の属性等、分析の基本項目に関して、次のとおりとなっている。

1．調査票の記入者（A票問1）

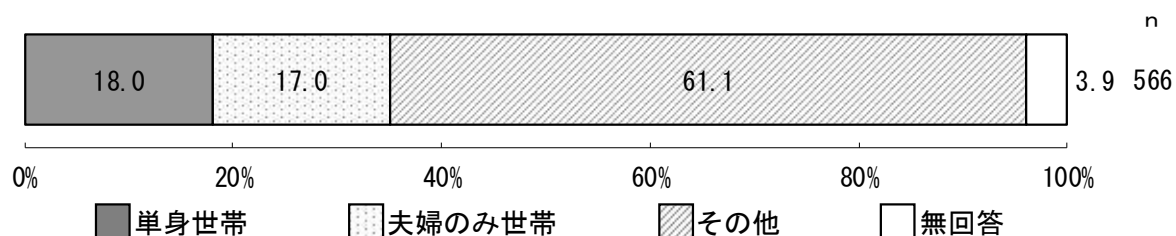
■「主な介護者となっている家族・親族」が62.5%と約6割を占める。



2．世帯類型（A票問2）

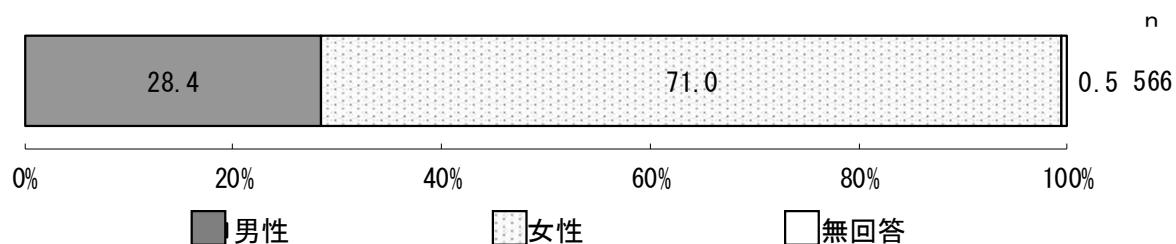
■「その他」が61.1%と最も多い。

■「単身世帯」は18.0%となっている。



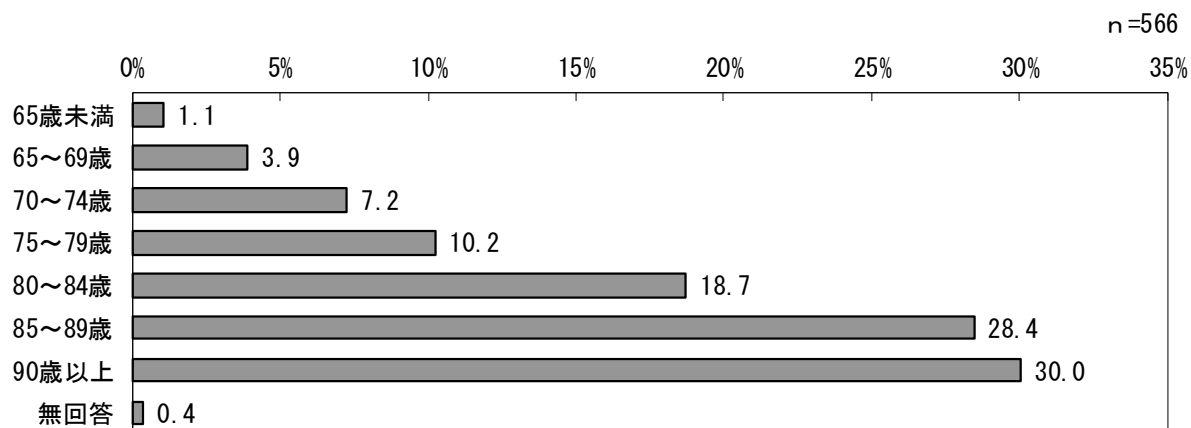
3．調査対象者の性別（A票問3）

■「男性」が28.4%、「女性」は71.0%となっている。



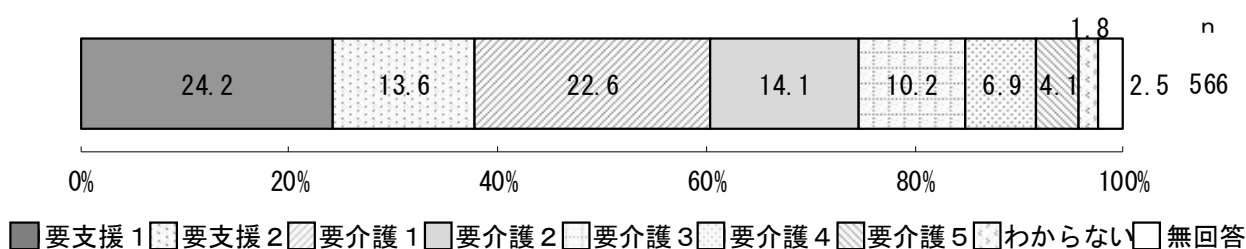
4. 調査対象者の年齢（A票問4）

■「90歳以上」が30.0%と最も多く、次いで「85～89歳」が28.4%であり、両者を合わせれば、85歳以上が約6割となる。



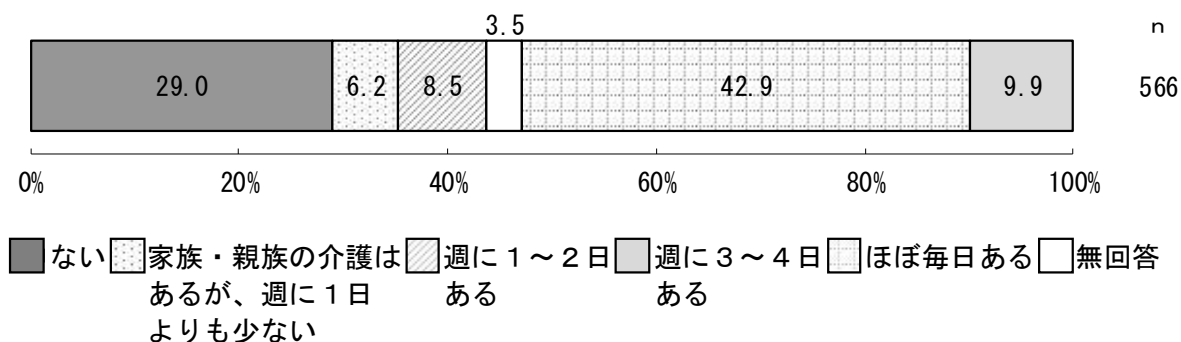
5. 要介護度（A票問5）

■「要支援1」が24.2%と最も多く、次いで「要介護1」が22.6%となっている。



6. 家族等による介護の状況（A票問14）

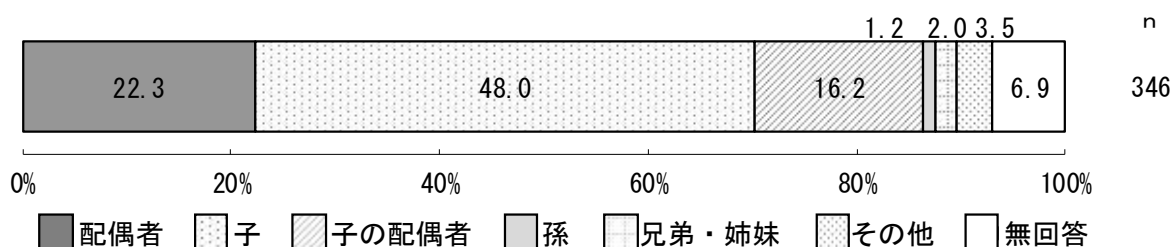
■「ほぼ毎日ある」が42.9%と約4割を占め、次いで「ない」が29.0%となっている。



7. 主な介護者の続柄（B票問2）

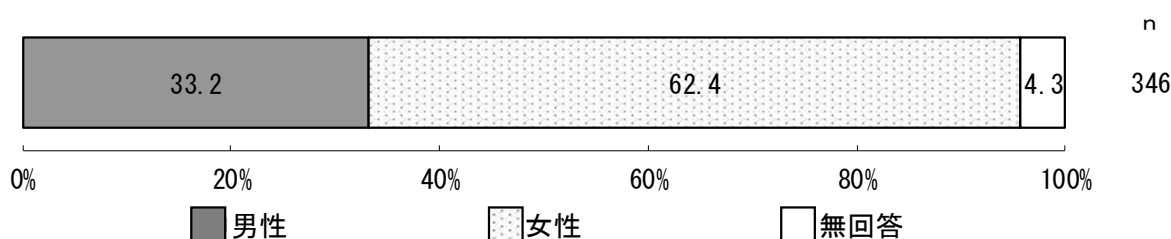
※「6. 家族等による介護の状況」（A票問14）で「ない」を除く。以下、8及び9も同様。

■「子」が48.0%と最も多く、次いで「配偶者」が22.3%、「子の配偶者」が16.2%となっている。



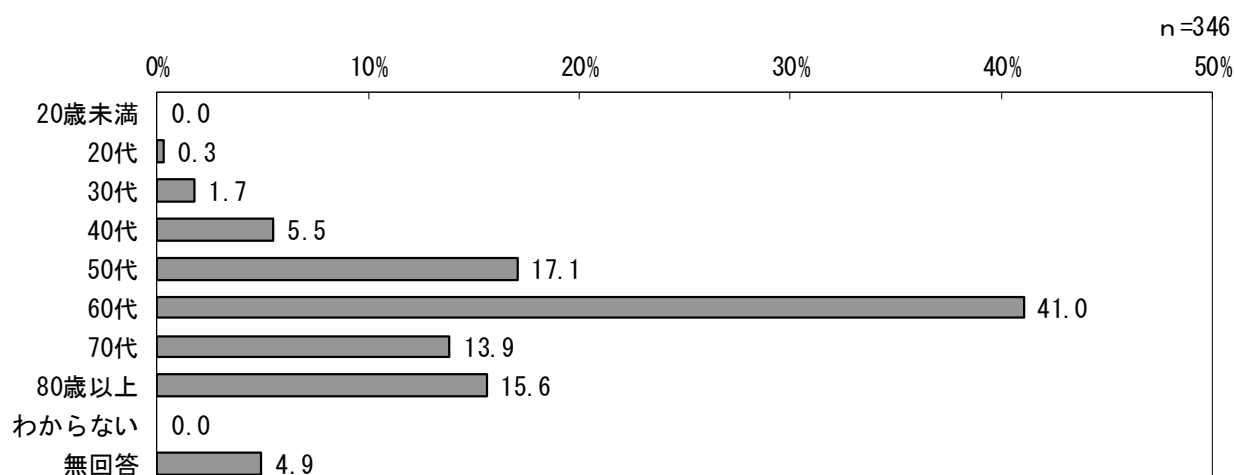
8. 主な介護者の性別（B票問3）

■「女性」が62.4%と約6割を占める。



9. 主な介護者の年齢（B票問4）

■「60代」が41.0%、次いで「50代」が17.1%、「80歳以上」が15.6%となっている。

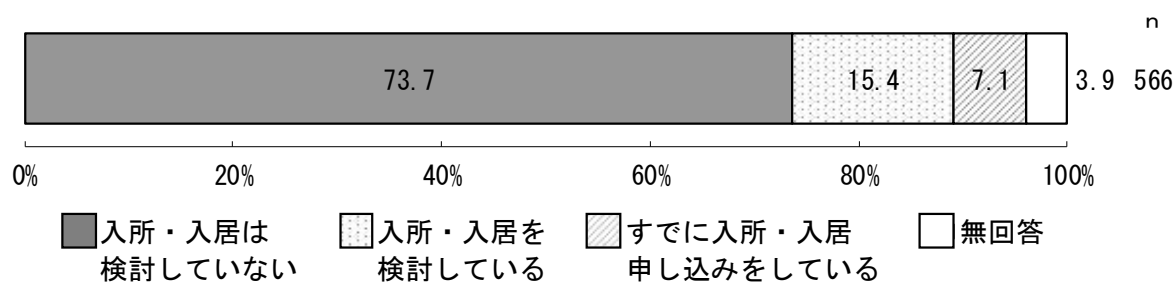


Ⅲ. 調査結果の概要

本章では、「調査対象者の施設等への入所・入居の検討状況」（A票問6）及び「主な介護者の介護継続の見込み」（B票問10）に視点を置いたから分析から本調査の結果を概括する¹。

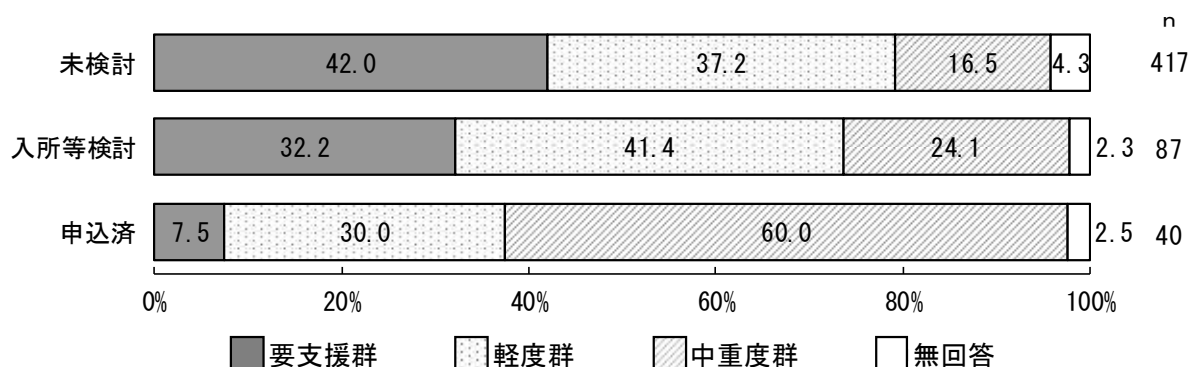
1. 施設等への入所・入居の検討状況からの分析

入所等の申し込みをしている調査対象者は7.1%、入所等を検討しているのは15.4%であり、73.7%と約7割は、まだ入所等の検討はしていない状況にある。（以下、「入所・入居は検討していない」を「未検討」、「入所・入居を検討している」を「入所等検討」、「すでに入所・入居申し込みをしている」を「申込済」と簡略して標記する。）



<要介護等認定状況>

調査対象者の要介護等認定の状況を、原則として介護保険3施設への入所の対象となっていない「要支援群」（要支援1～2）及び「軽度群」（要介護1～2）、対象となる「中重度群」（要介護3～5）の3群に統合し、入所等の検討状況とクロス集計した。



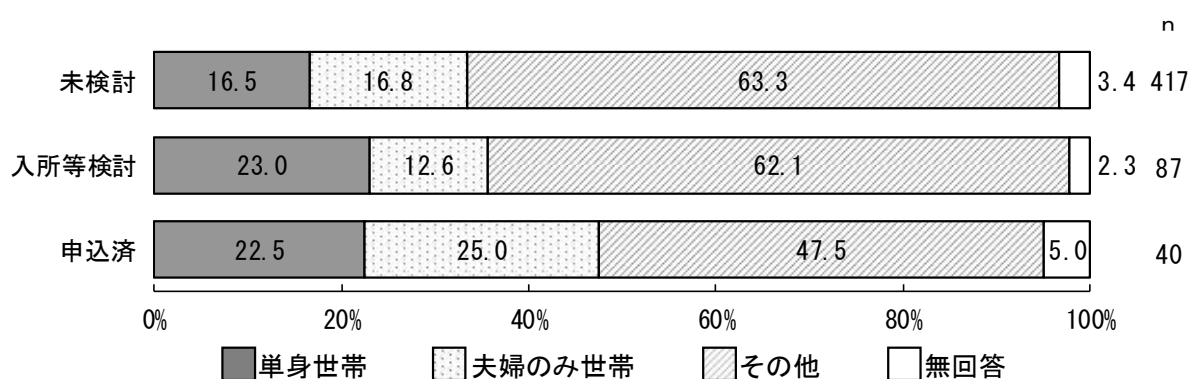
¹ 厚生労働省老健局介護保険計画課「在宅介護実態調査－実施のための手引き」1頁。

「申込済」は「中重度群」が 60.0%であり、「未検討」及び「入所等検討」よりも中重度者が多くを占める。反面、介護保険 3 施設に関しては入所対象となっていない「要支援群」が 7.5%、「軽度群」が 30.0%と、少なからず含まれている。

また、「未検討」の 16.5%、「入所等検討」の 24.1%は「中重度群」であり、今後、入所等の申し込みに転じる可能性が、「要支援群」や「軽度群」よりも相対的に高い集団として留意する必要がある。

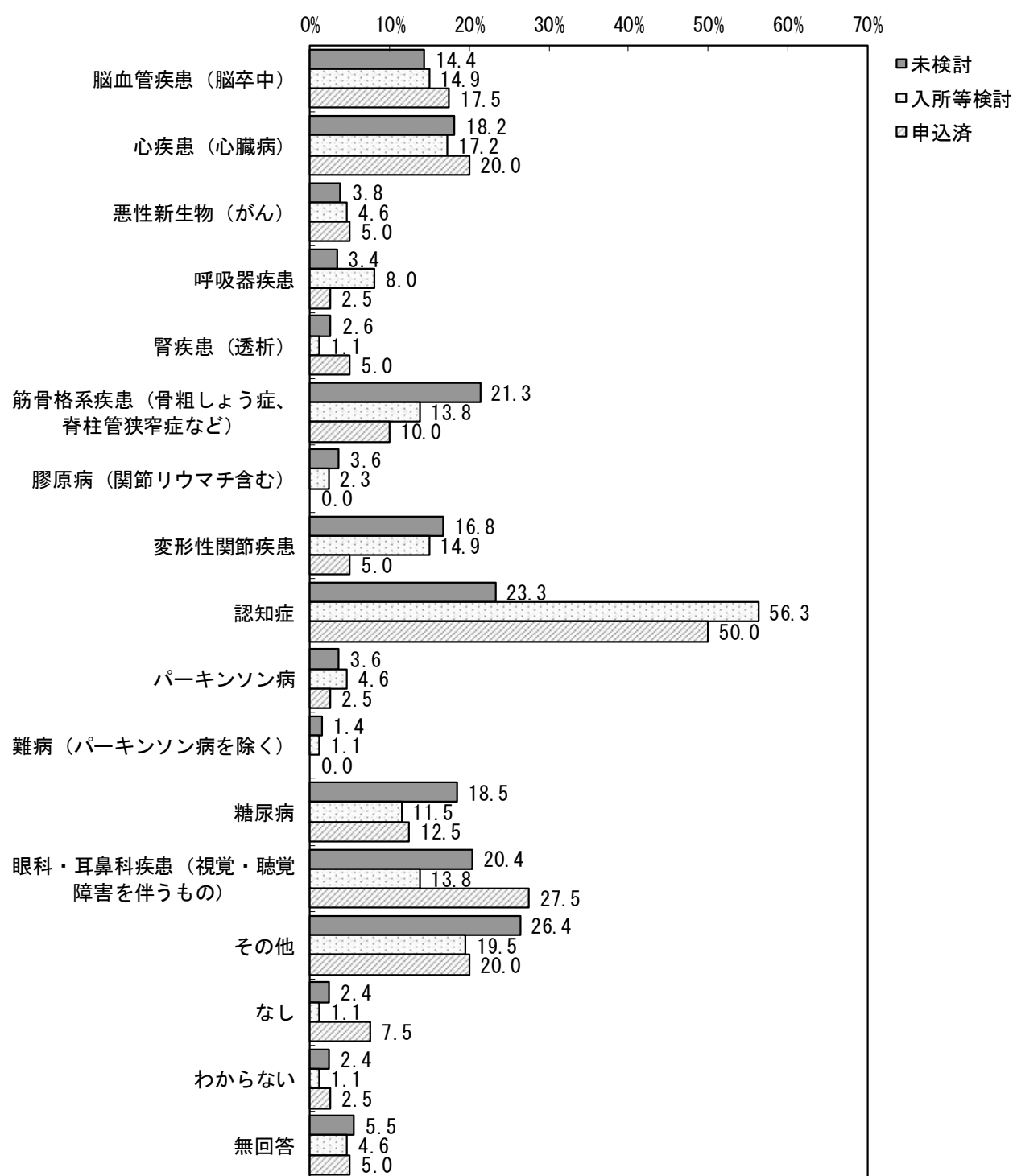
<世帯類型>

「申込済」及び「入所等検討」は、世帯類型のなかでは要援護性の最も高い「単身世帯」が 2 割以上であり、「未検討」(16.5%) よりも多くを占める。また、「申込済」は「夫婦のみ世帯」も 25.0%であり、「未検討」や「入所等検討」に比べ家族介護力がやや低いものと推察される。



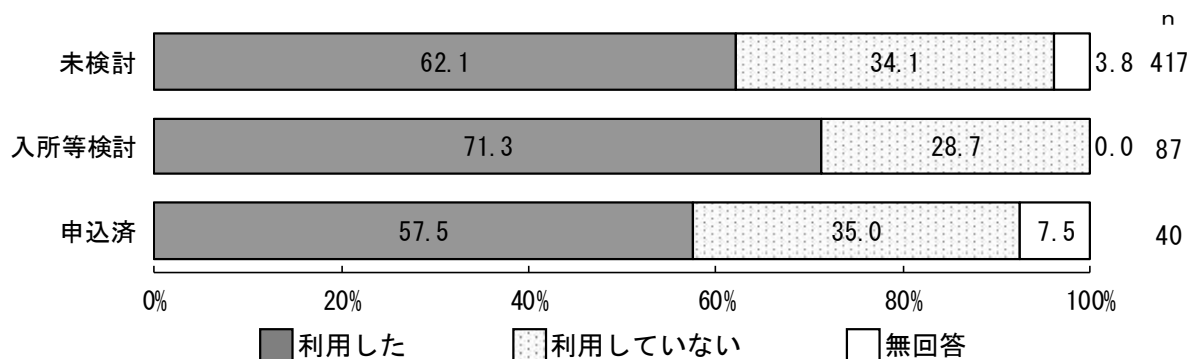
＜現在抱えている傷病＞

現在抱えている傷病をみると、「入所等検討」及び「申込済」はいずれも「認知症」が5割以上で他の項目に比べ顕著に多い。「未検討」も23.3%であり、「その他」(26.4%)に続く第2位の項目ではあるが、「入所等検討」及び「申込済」とはおおよそ30ポイントの差がある。「認知症」が入所等の検討・申込みに関して有力な契機となる傷病であることがうかがわれる。

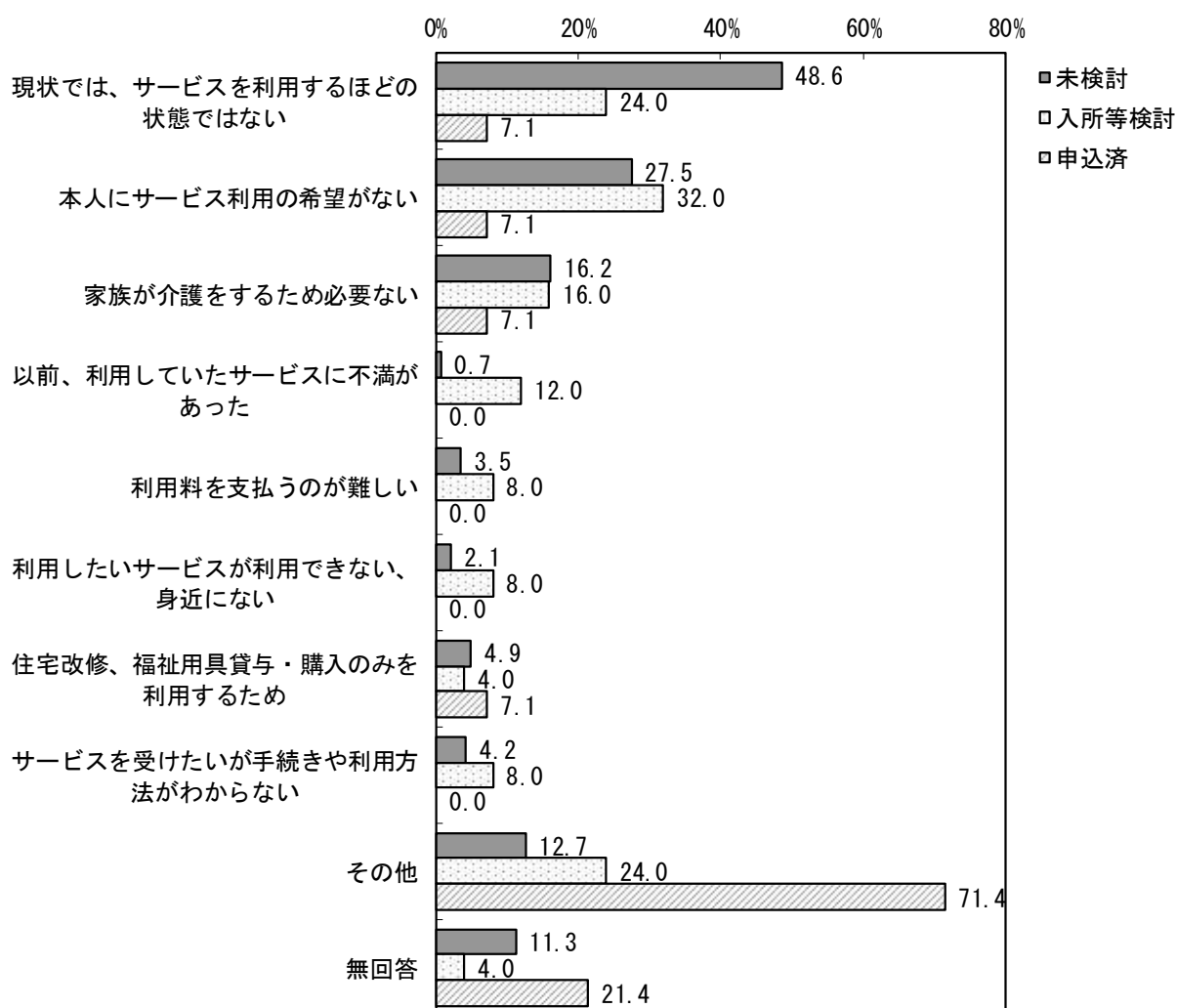


<介護保険サービスの利用状況と未利用の理由>

介護保険サービスの利用状況をみると、「未検討」、「入所等検討」及び「申込済」のいずれも「利用した」が多数を占めるが、「入所等検討」が71.3%と最も多い。一方、「未検討」及び「申込済」はともに「利用していない」が3割強を占めている。



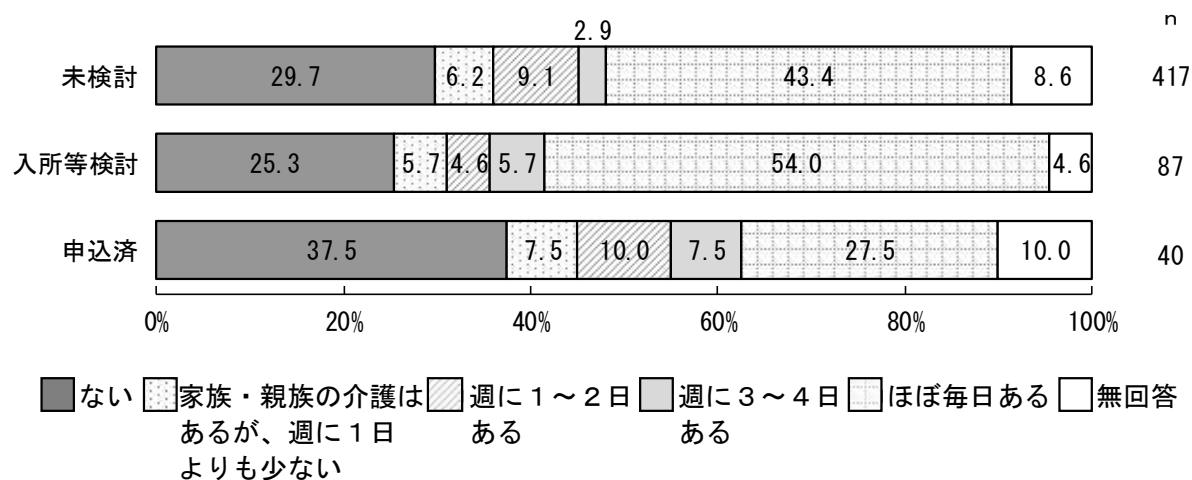
サービスを利用していない理由をみると、「未検討」は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が48.6%、「入所等検討」は、「本人にサービス利用の希望がない」が32.0%、「申込済」は「その他」が71.4%と、それぞれ最も多くなっている。



<家族等による介護の有無と程度>

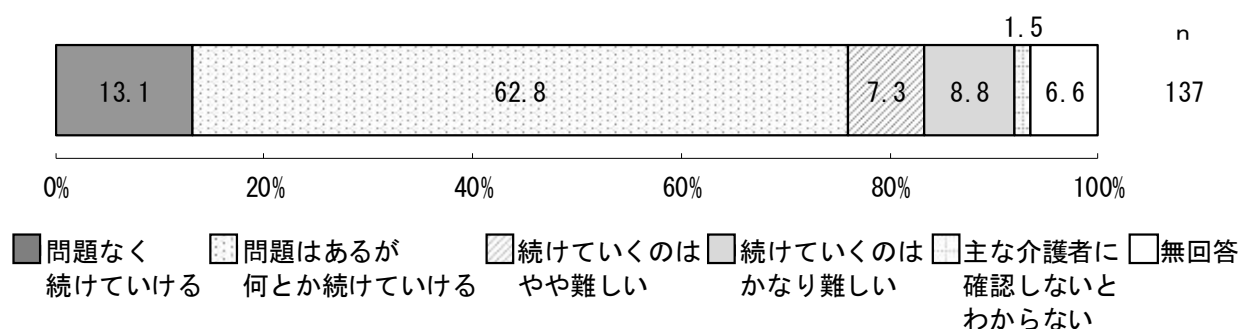
家族等による介護の有無をみると、「申込済」は、「ない」が37.5%と約4割を占め、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」が7.5%、「週に1～2日ある」が10.0%となっている。家族等による介護は、皆無か、あってもかなり手薄い状況が多数を占めている。

これに対して、「未検討」及び「入所等検討」は、「ほぼ毎日」が4～5割台であり、家族等の介護力における差異が、施設等への申込み行動の差異となっていることがうかがわれる。

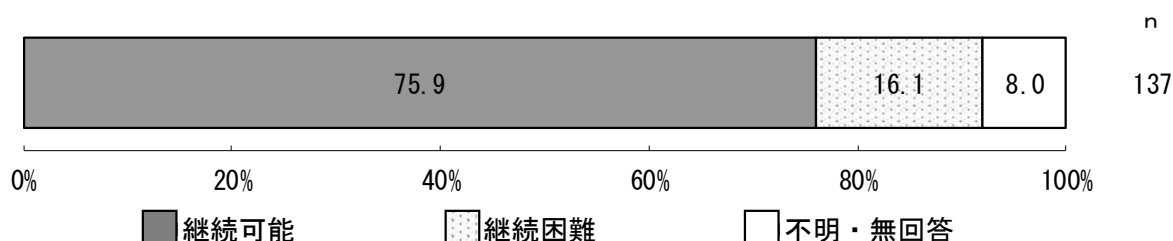


2. 主な介護者の介護継続の見込みからの分析

フルタイムあるいはパートタイムで働いている調査対象者の主な介護者に、今後も働きながら介護を続けていかれるかどうかについて回答を得たものが、次のグラフである。



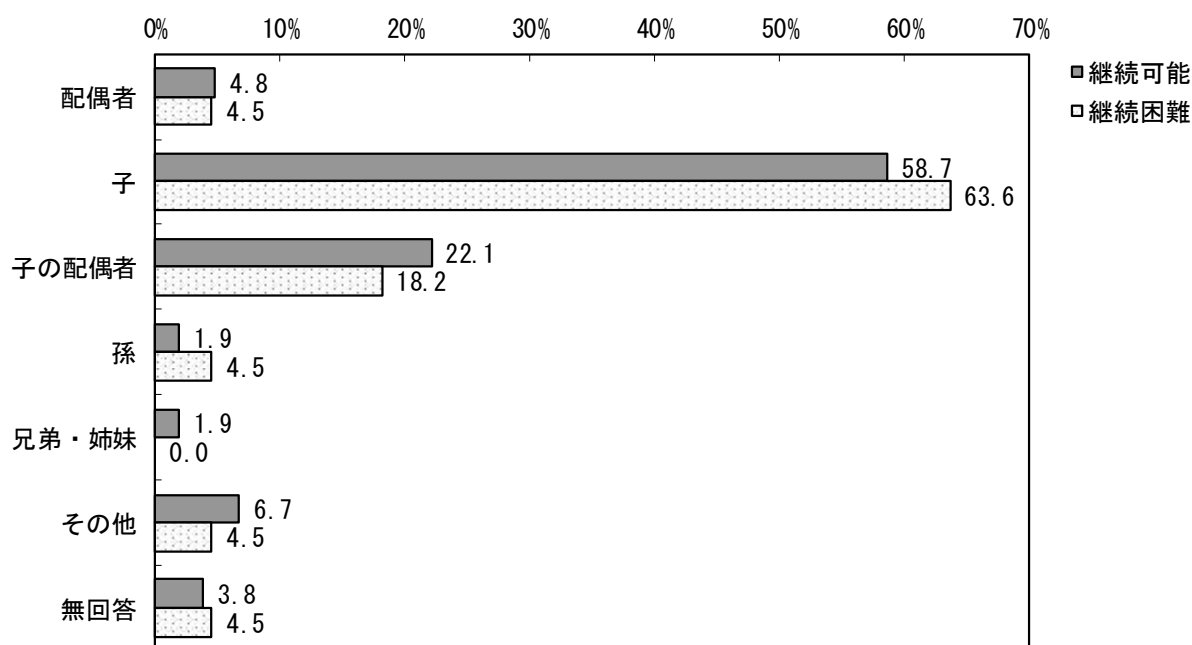
これを「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を統合して「継続可能」とし、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を統合して「継続困難」に、さらに「主な介護者に確認しないとわからない」と「無回答」を統合して「不明・無回答」としたものが次のグラフとなる。(なお、「不明・無回答」は小数点第2位を四捨五入した値を表記しているため、上のグラフの単純合計とはなっていない。)



以下、上記のうち「継続可能」と「継続困難」の2群の比較の観点から、各項目について確認する。

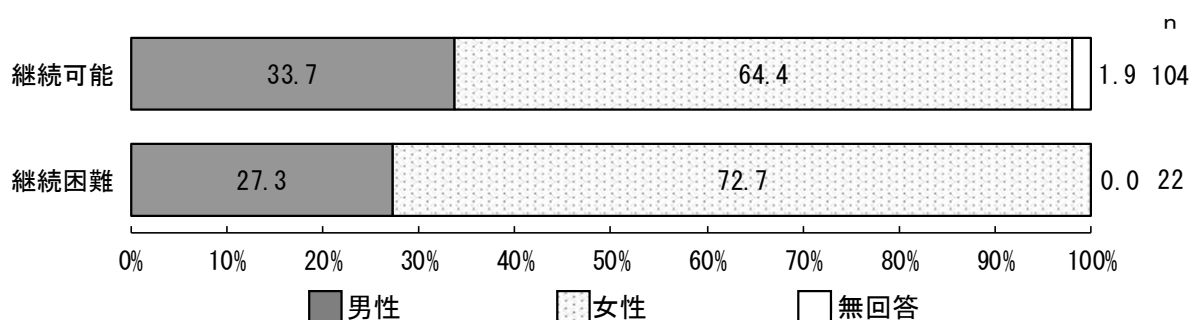
<主な介護者の続柄>

調査対象者である要支援・要介護者との続柄は、「継続可能」、「継続困難」とともに「子」が最も多く約6割、次いで「子の配偶者」が約2割となっており、大きな差異はない。



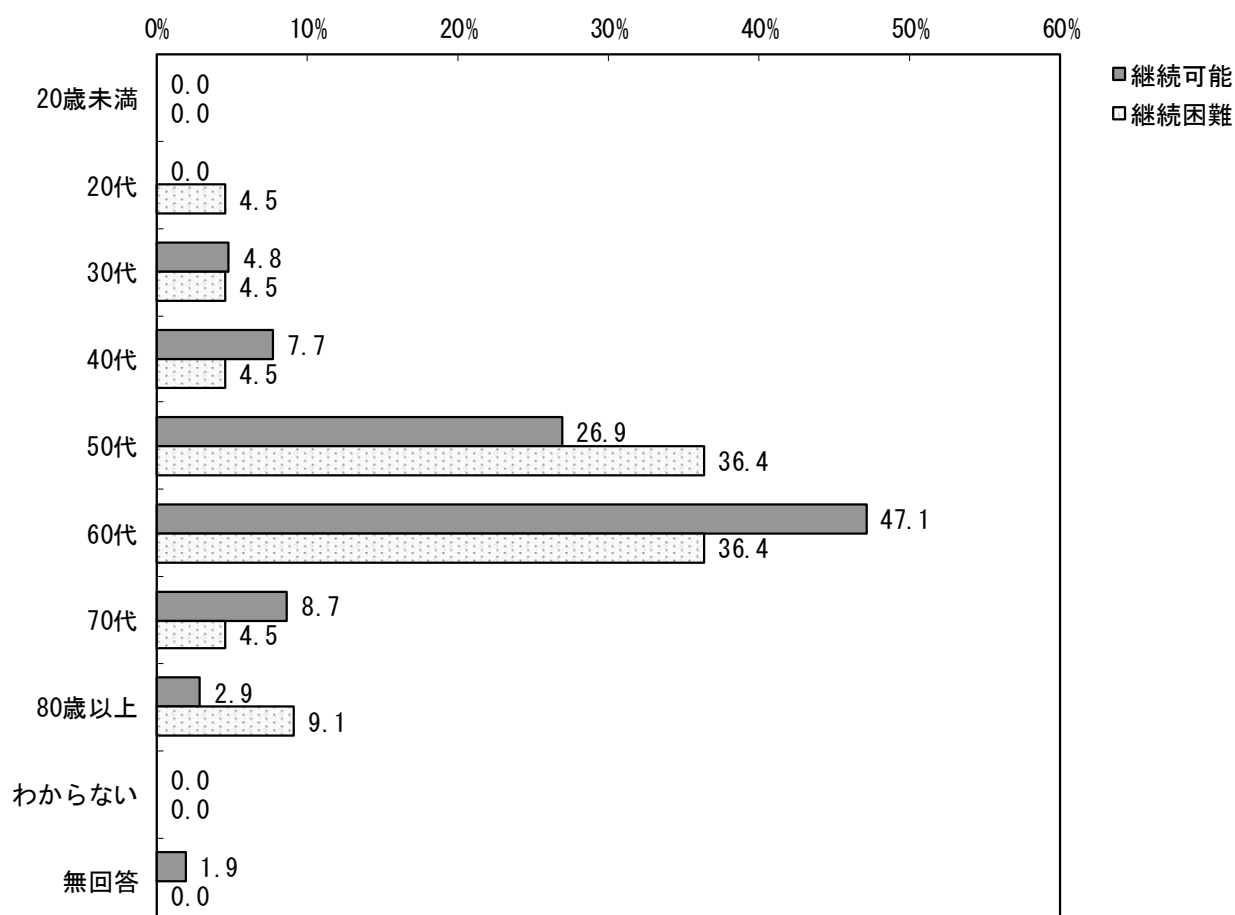
<主な介護者の性別>

性別では、いずれも「女性」が多数を占めるが、「継続困難」の方が「女性」の割合が8.3ポイント多い。



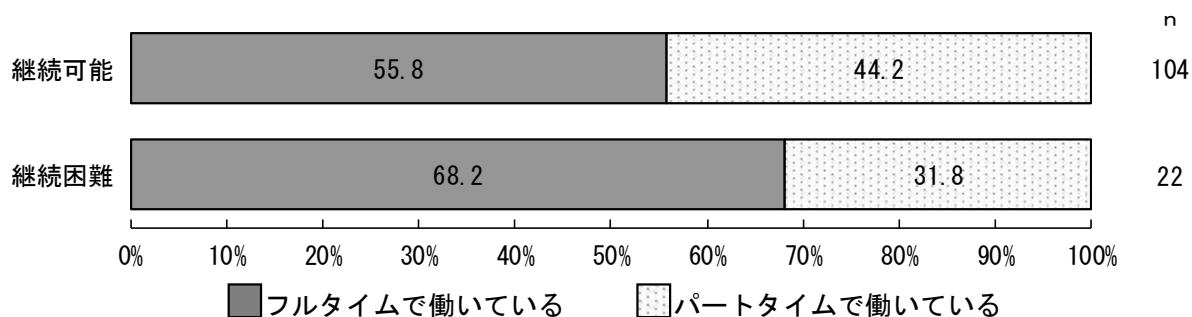
<主な介護者の年齢>

年齢は、いずれも「50代」及び「60代」が中心だが、「継続困難」は「50代」と「60代」がともに36.4%だが、「継続可能」は「60歳代」が47.1%、「50代」が26.9%と20.2ポイントの差がある。また、「継続困難」は「80歳以上」が9.1%とおおよそ1割を占める。



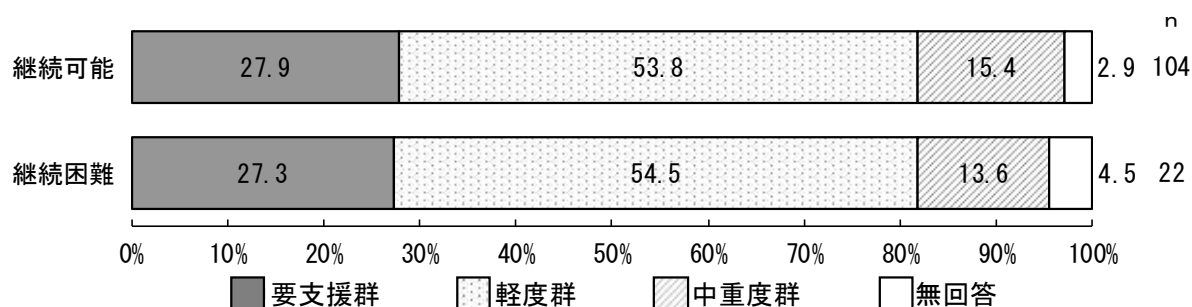
<主な介護者の勤務形態>

勤務形態は、いずれも「フルタイムで働いている」が多くを占めるが、「継続困難」は「継続可能」よりも12.4ポイント多い。



<調査対象者の要介護度>

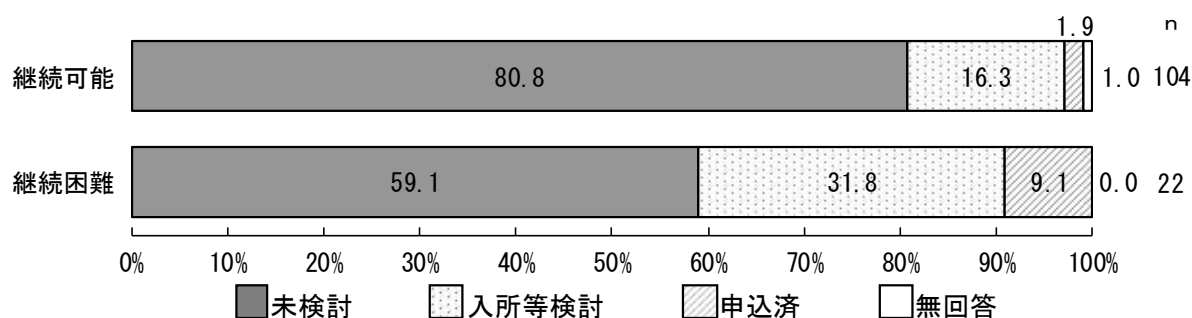
調査対象者の要介護度をみると、いずれも「軽度群」が約5割を占め、次いで「要支援群」が約3割となっており、要介護度の構成比に大きな差異はない。



<入所・入居の検討状況>

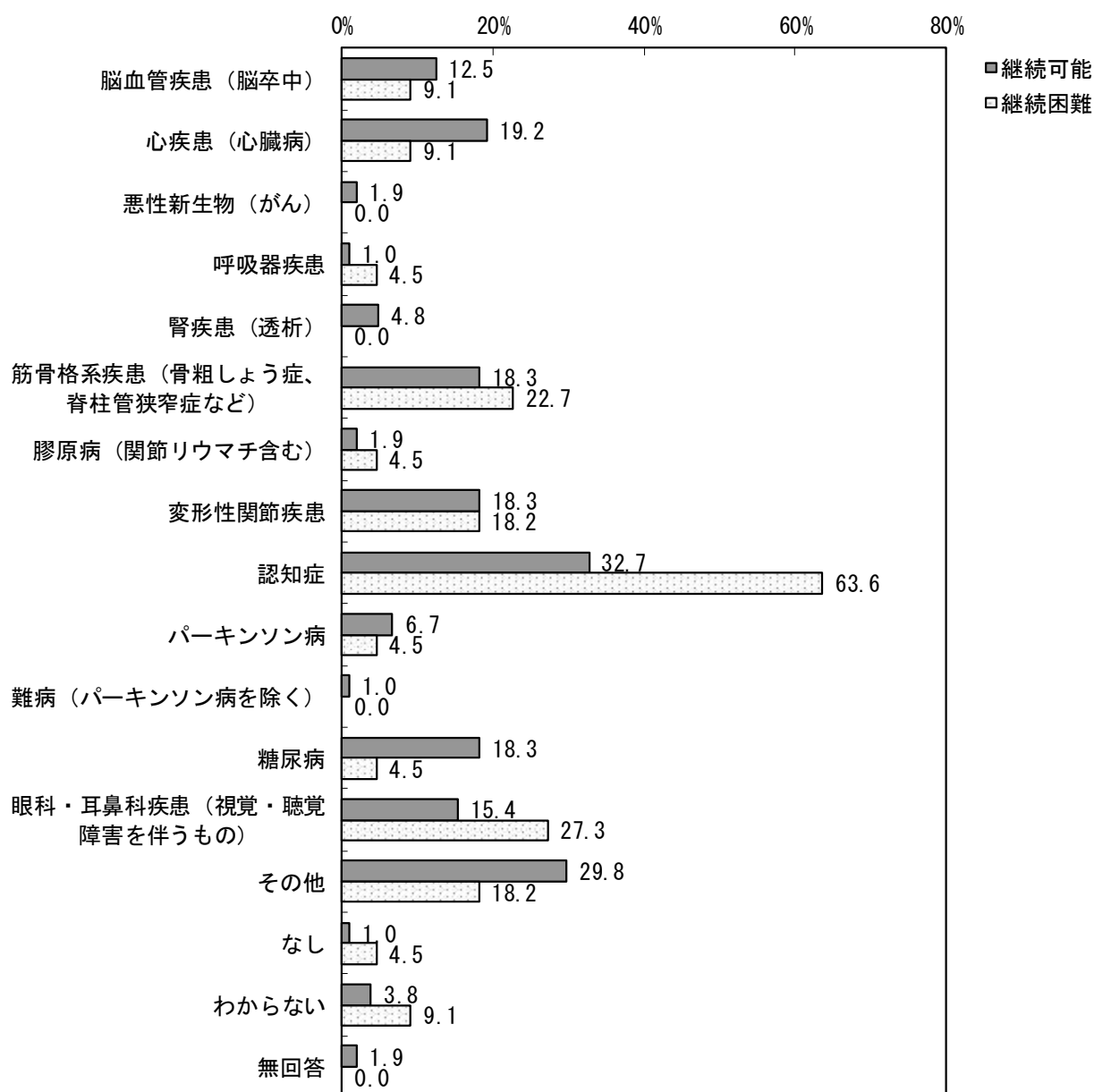
入所・入居の検討状況をみると、「継続困難」は「申込済」が9.1%、「入所等検討」が31.8%であり、約4割が施設等入所の検討ないしは申込みを行っている。

「継続可能」は「未検討」が80.8%であり、施設等入所の検討ないしは申込みを行っているのは約2割となっている。



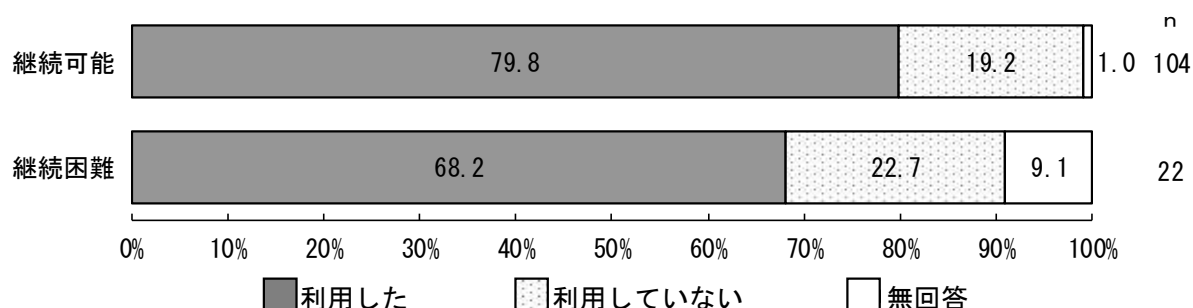
＜現在抱えている傷病＞

調査対象の要介護者が現在抱えている傷病は、いずれも「認知症」が最上位にあげられているが、「継続可能」が32.7%であるのに対し、「継続困難」は63.6%であり、顕著に高い割合となっている。また、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」についても、割合自体は前記「認知症」ほど高くはないが、同様の傾向を示し、「継続可能」が15.4%であるのに対し、「継続困難」は27.3%と、11.9ポイントの差がある。

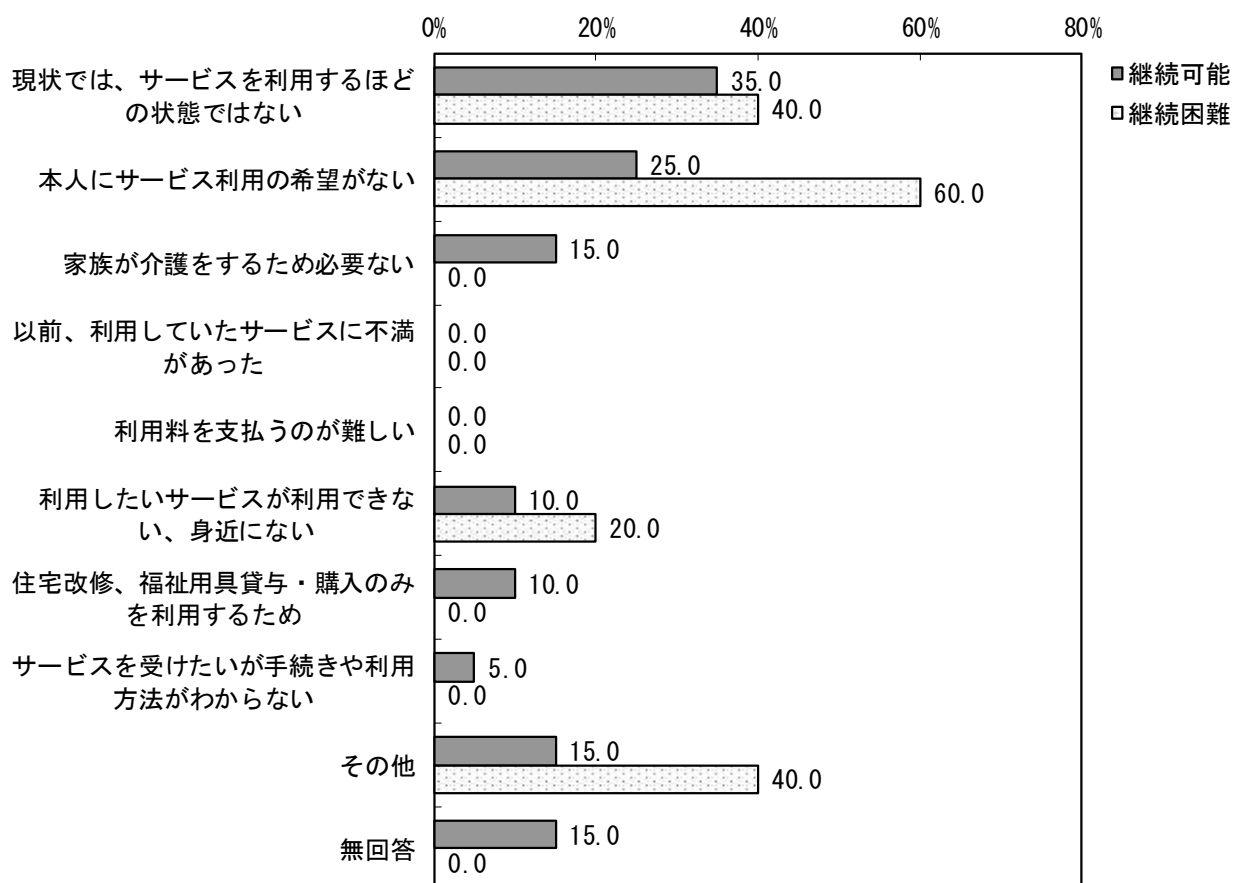


<介護保険サービスの利用状況及び未利用の理由>

介護保険サービスの利用状況をみると、いずれも「利用した」が多数だが、「継続可能」は 79.8%と約 8 割であるのに対し、「継続困難」は 68.2%と約 7 割であり、「利用していない」がやや多くなっている。

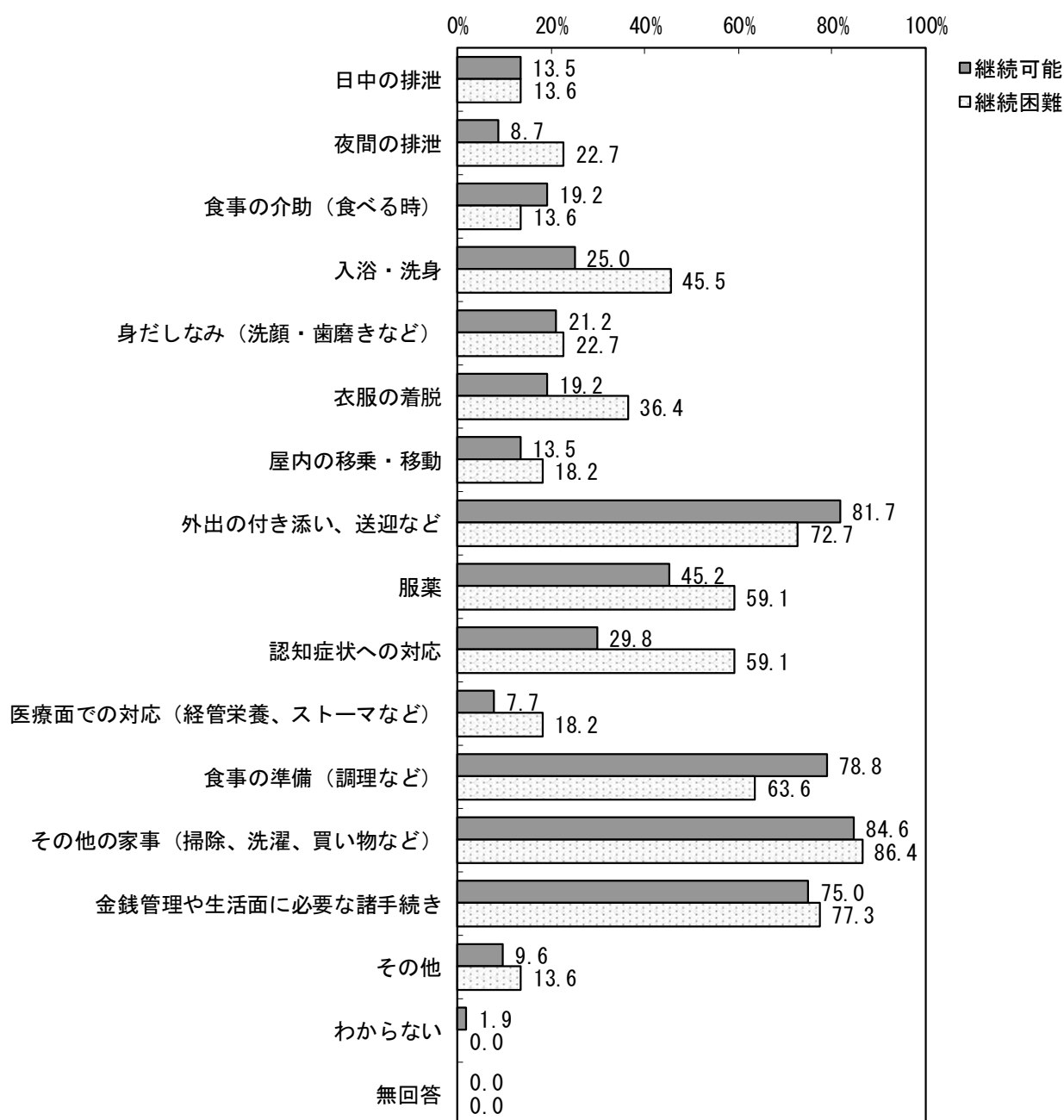


上記の「利用していない」に関して、未利用の理由をみると、「継続可能」は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 35.0%と最も多く、サービスの必要度が低いことが最上位にあげられているが、「継続困難」は「本人にサービス利用の希望がない」が 60.0%となっており要介護者本人の希望が最上位の理由となっている。



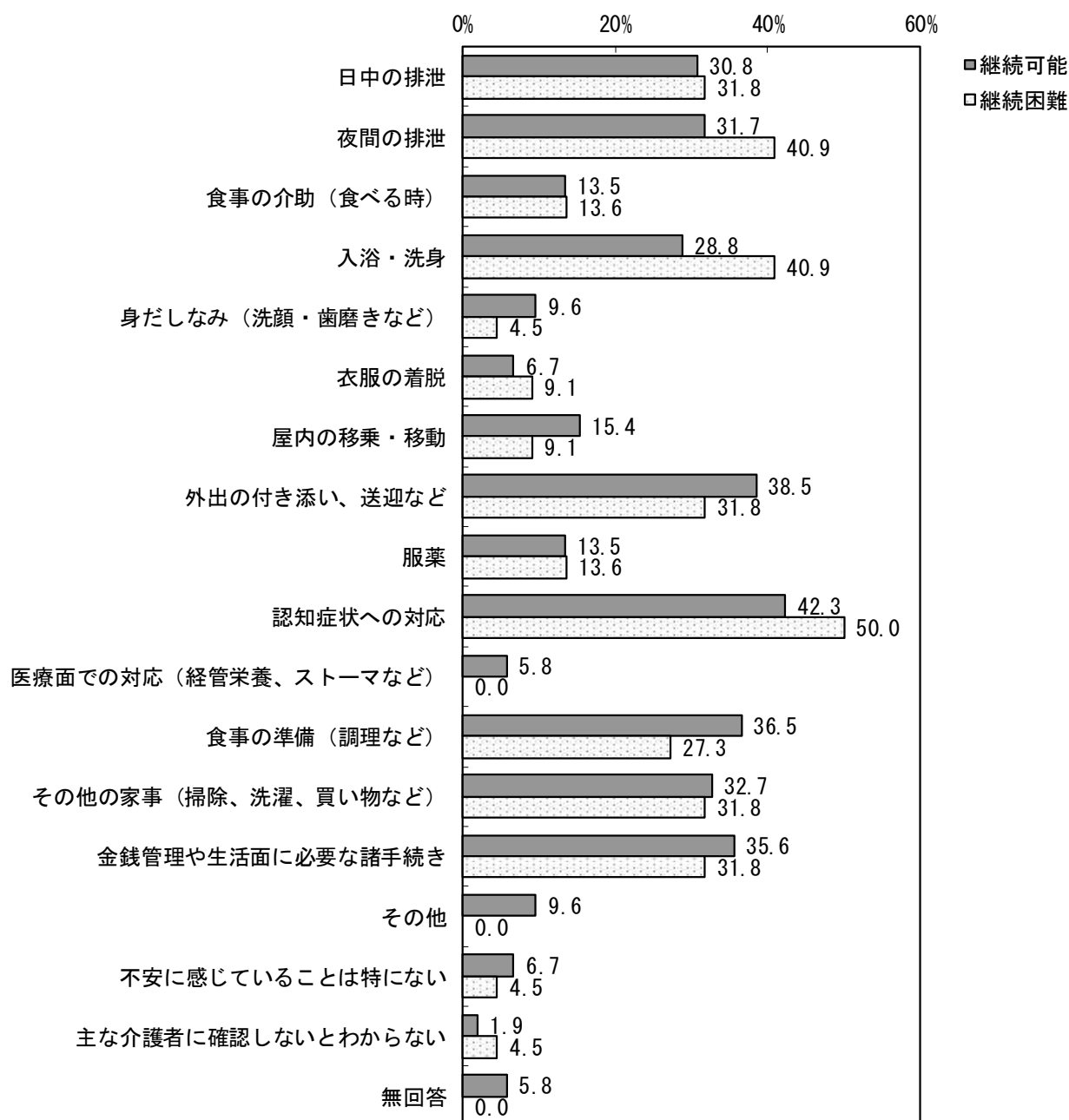
＜現在行っている介護＞

現在行っている介護で、「継続困難」、「継続可能」とともに上位にあげている4項目は、「外出の付き添い、送迎など」、「食事の準備（調理など）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」であり、差異はない。この4項目以外に「継続困難」が「継続可能」を顕著に上回る項目は、「夜間の排泄」（14.0ポイント差）、「入浴・洗身」（20.5ポイント差）、「衣服の着脱」（17.2ポイント差）、「服薬」（13.9ポイント差）、「認知症状への対応」（29.3ポイント差）、「医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）」（10.5ポイント差）となっている。



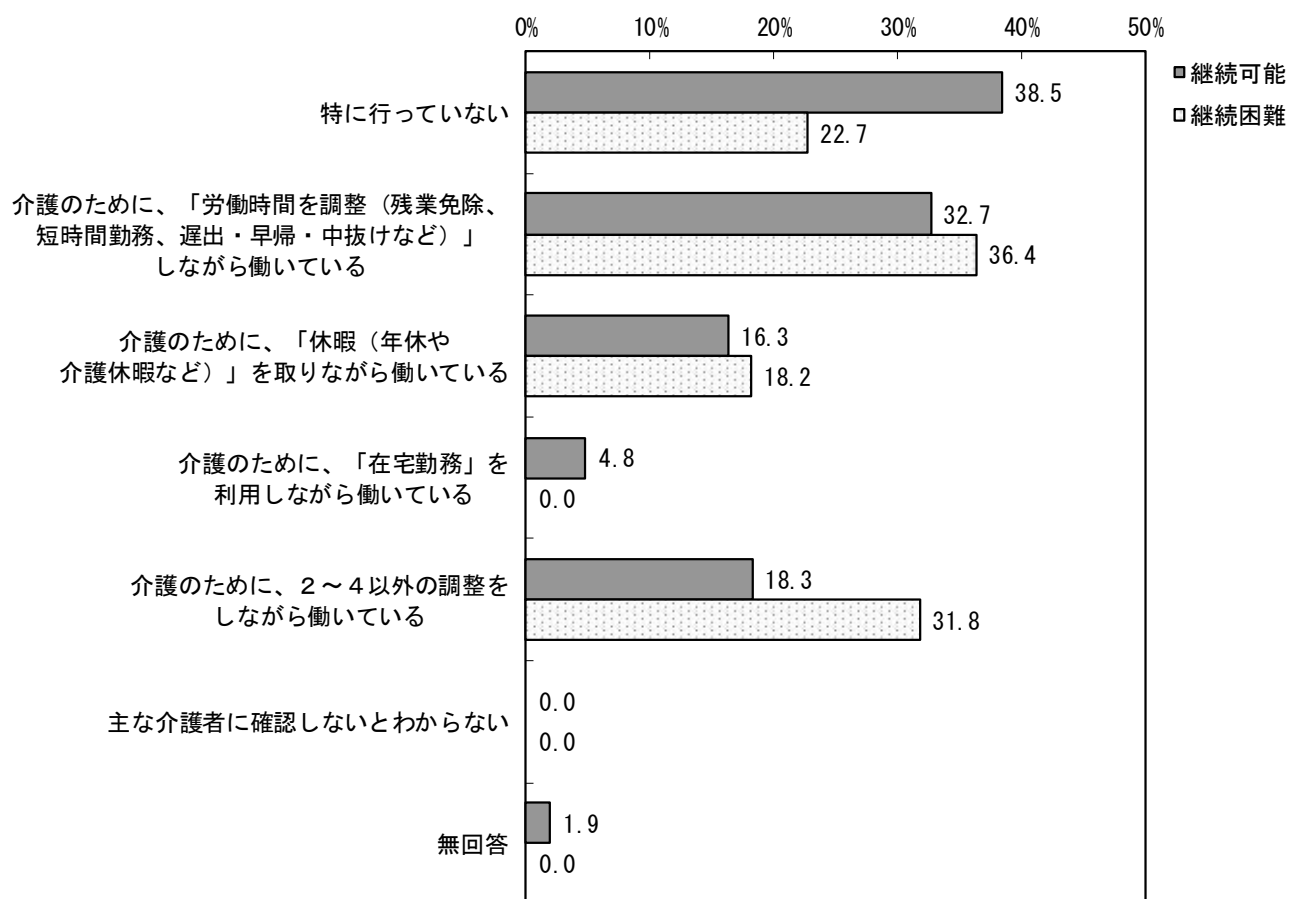
＜不安を感じる介護＞

不安を感じる介護では、「継続困難」及び「継続可能」のいずれも「認知症状への対応」が最上位にあげられているが、「継続困難」は50.0%であり、「継続可能」よりも7.7ポイント多い。また、前項（現在行っている介護）で、「継続困難」が「継続可能」の割合を上回った項目のうち、「夜間の排泄」（9.2ポイント差）、「入浴・洗身」（12.1ポイント差）は、「継続困難」の不安の度合いが多く示されている。



＜介護するにあたっての仕事の調整等＞

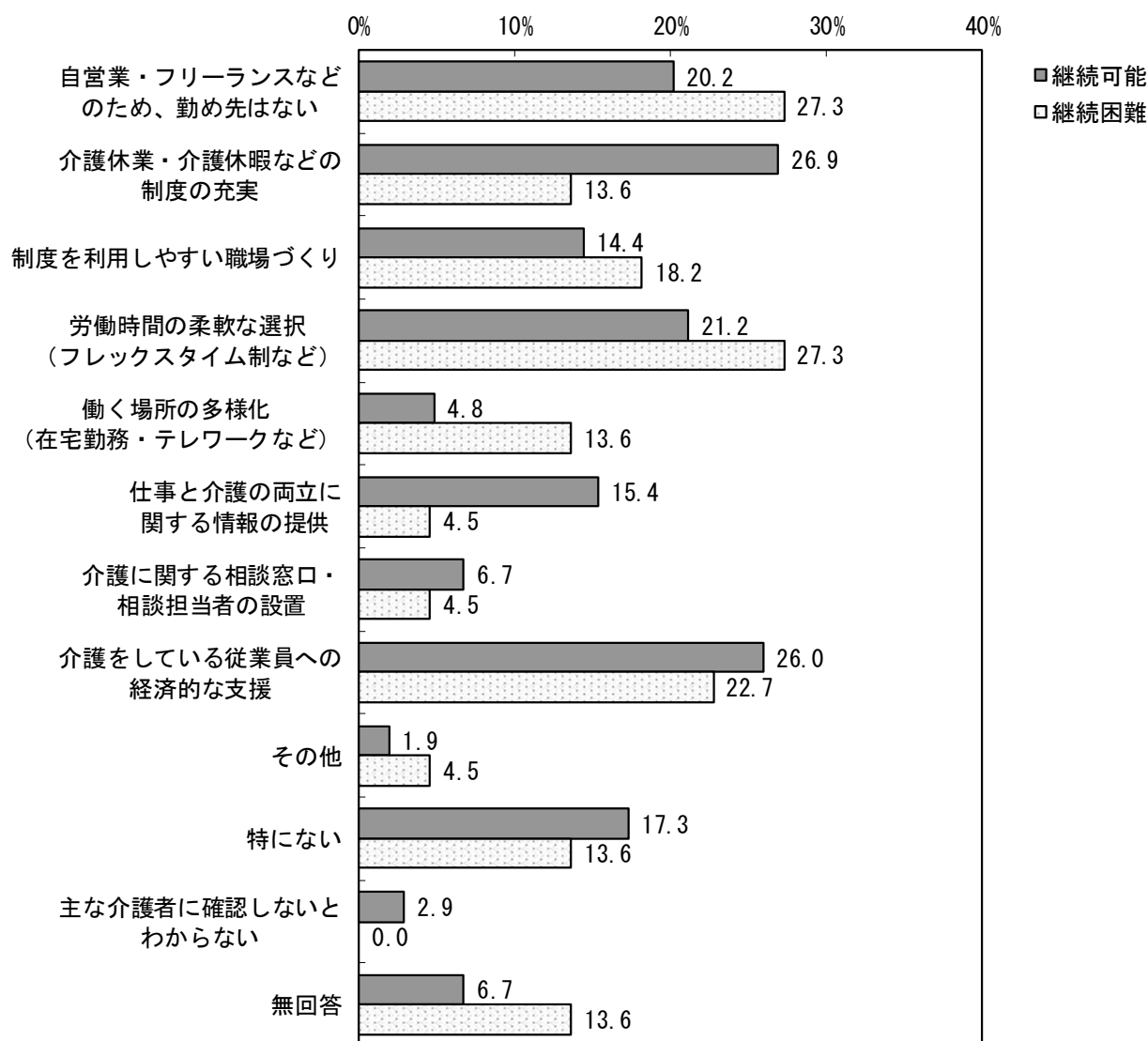
介護するにあたっての仕事の調整等をみると、「継続可能」は「特に行っていない」が38.5%と最も多いのに対し、「継続困難」は「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が36.4%と最も多く、さらに「介護のために、2～4以外の調整をしながら働いている」も31.8%となっている。



＜効果のある勤め先からの支援＞

効果のある勤め先からの支援をみると、「継続困難」は「自営業・フリーランスなどのため、勤め先はない」とともに、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が27.3%となっている。

一方、「継続可能」は「介護休業・介護休暇などの制度の充実」が26.9%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が26.0%となっており、「継続困難」とは上位にあげている項目が異なっている。



IV. 項目別集計結果

1. 調査対象者本人について

以下の項目は、調査対象者本人に関する設問である（A票）。

クロス集計項目は、A票の「問3 性別」、「問2 世帯類型」、「問4 要介護度」（要支援1～2を「要支援群」、要介護1～2を「軽度群」、要介護3～5を「中重度群」に3区分）を採用した。

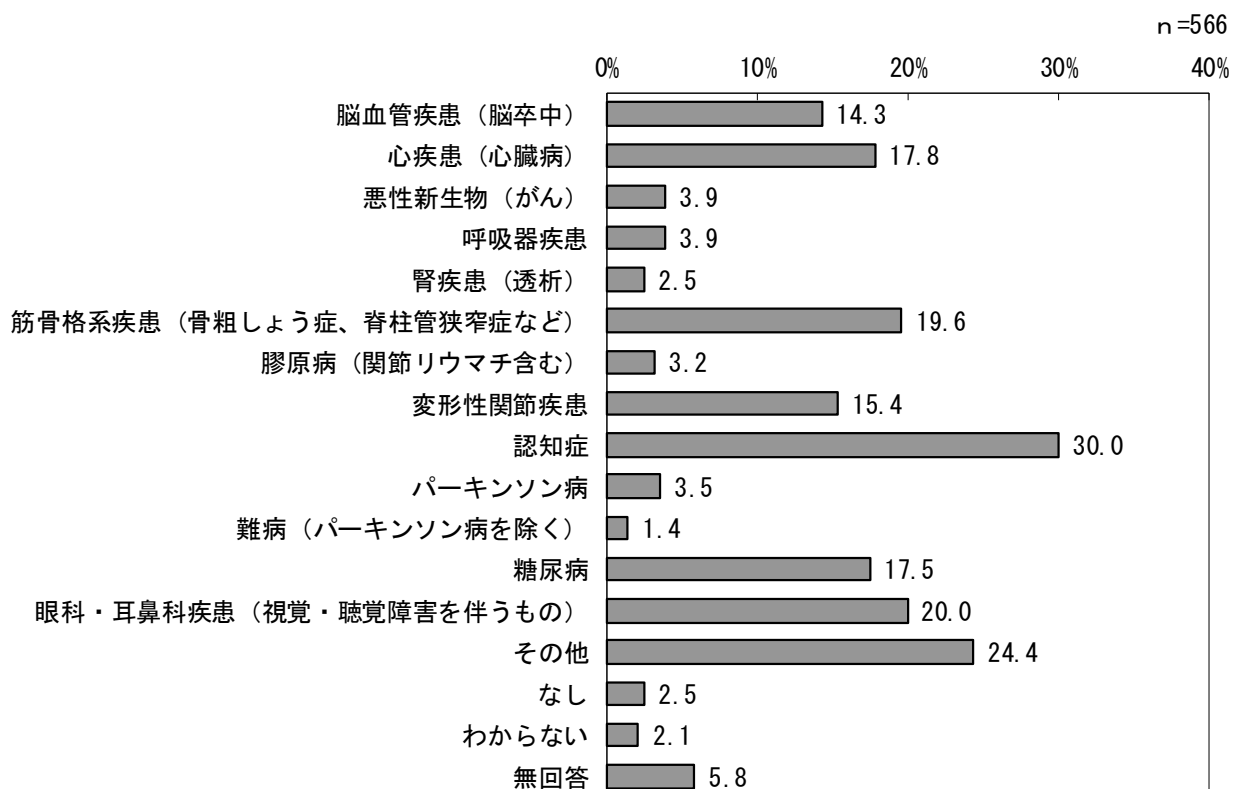
（1）現在抱えている傷病

■「認知症」が最も多く 30.0%であり、次いで「その他」（24.4%）、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（20.0%）、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など）」（19.6%）となっている。

■性別で差異のある項目をみると、男性は「脳血管疾患（脳卒中）」、「心疾患（心臓病）」が、女性は「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、「変形性関節疾患」、「認知症」が、それぞれやや多い。

■世帯類型では、単身世帯は「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」、夫婦のみ世帯は「脳血管疾患（脳卒中）」、その他は「認知症」が、それぞれ最も多い。

■要介護度では、軽度群及び中重度群は「認知症」が4割台となっている。



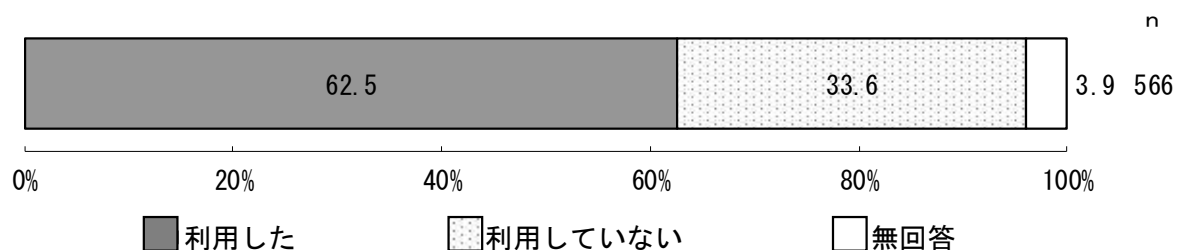
<クロス集計>

		合計	問 7 現在抱えている傷病								
			脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など)	膠原病 (関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症
全体		566 100.0	81 14.3	101 17.8	22 3.9	22 3.9	14 2.5	111 19.6	18 3.2	87 15.4	170 30.0
性別	男性	161 100.0	43 26.7	35 21.7	10 6.2	10 6.2	9 5.6	20 12.4	2 1.2	8 5.0	39 24.2
	女性	402 100.0	36 9.0	66 16.4	12 3.0	12 3.0	5 1.2	91 22.6	16 4.0	79 19.7	131 32.6
世帯類型	単身世帯	102 100.0	11 10.8	13 12.7	3 2.9	3 2.9	3 2.9	22 21.6	3 2.9	25 24.5	23 22.5
	夫婦のみ世帯	96 100.0	26 27.1	13 13.5	4 4.2	2 2.1	8 8.3	15 15.6	4 4.2	10 10.4	22 22.9
	その他	346 100.0	41 11.8	71 20.5	15 4.3	15 4.3	2 0.6	70 20.2	11 3.2	49 14.2	121 35.0
要介護度	要支援群	214 100.0	28 13.1	44 20.6	7 3.3	7 3.3	3 1.4	46 21.5	9 4.2	43 20.1	25 11.7
	軽度群	208 100.0	30 14.4	31 14.9	6 2.9	6 2.9	6 2.9	41 19.7	6 2.9	31 14.9	88 42.3
	中重度群	120 100.0	21 17.5	23 19.2	9 7.5	6 5.0	3 2.5	21 17.5	3 2.5	10 8.3	52 43.3

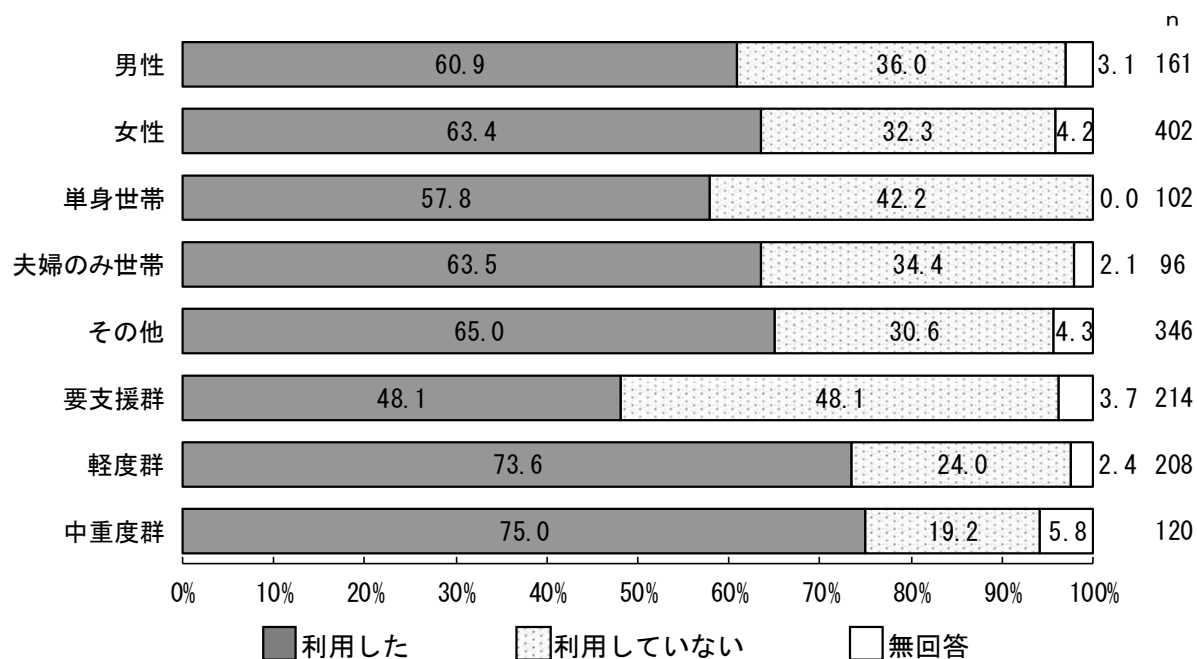
		合計	問 7 現在抱えている傷病							
			パーキンソン病	難病 (パーキンソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答
全体		566 100.0	20 3.5	8 1.4	99 17.5	113 20.0	138 24.4	14 2.5	12 2.1	33 5.8
性別	男性	161 100.0	6 3.7	5 3.1	28 17.4	30 18.6	44 27.3	1 0.6	2 1.2	9 5.6
	女性	402 100.0	14 3.5	3 0.7	69 17.2	82 20.4	94 23.4	13 3.2	10 2.5	24 6.0
世帯類型	単身世帯	102 100.0	0 0.0	2 2.0	14 13.7	26 25.5	21 20.6	4 3.9	2 2.0	3 2.9
	夫婦のみ世帯	96 100.0	5 5.2	2 2.1	20 20.8	17 17.7	20 20.8	0 0.0	1 1.0	9 9.4
	その他	346 100.0	15 4.3	4 1.2	61 17.6	64 18.5	97 28.0	9 2.6	8 2.3	16 4.6
要介護度	要支援群	214 100.0	6 2.8	4 1.9	33 15.4	49 22.9	51 23.8	6 2.8	3 1.4	18 8.4
	軽度群	208 100.0	11 5.3	2 1.0	42 20.2	35 16.8	55 26.4	3 1.4	4 1.9	6 2.9
	中重度群	120 100.0	3 2.5	2 1.7	21 17.5	22 18.3	27 22.5	4 3.3	2 1.7	6 5.0

(2) 介護保険サービス利用の有無

- 「利用した」が62.5%となっている。
- 性別では、女性に「利用した」がやや多い。
- 世帯類型では、「単身世帯」の利用度合いがやや低い。
- 要介護度では、要支援群は「利用した」が48.1%と約5割であるのに対し、軽度群、中重度群は7割台となっている。



<クロス集計>



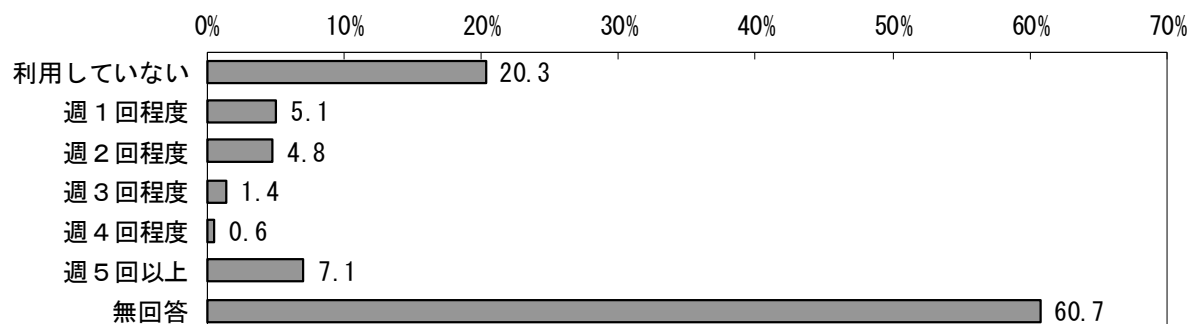
(3) 利用回数等

※(2) 介護保険サービス利用の有無で「利用した」のみ。

■「通所介護（デイサービス）」を除き、「利用していない」及び「無回答」が多い。

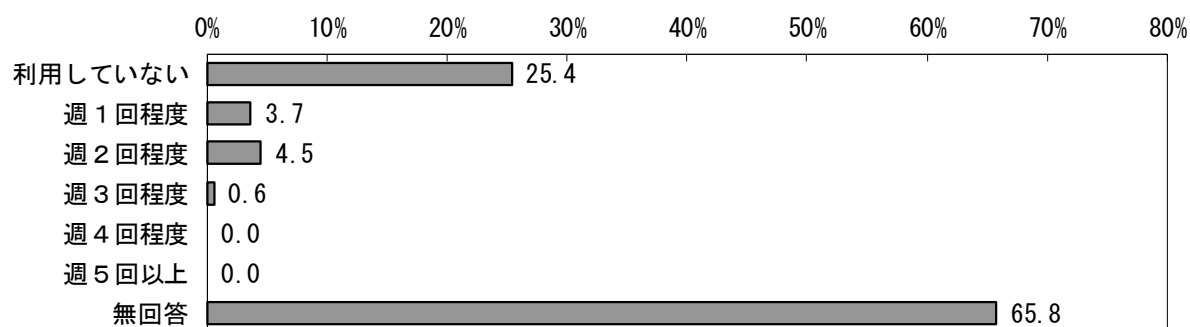
A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）

n=354



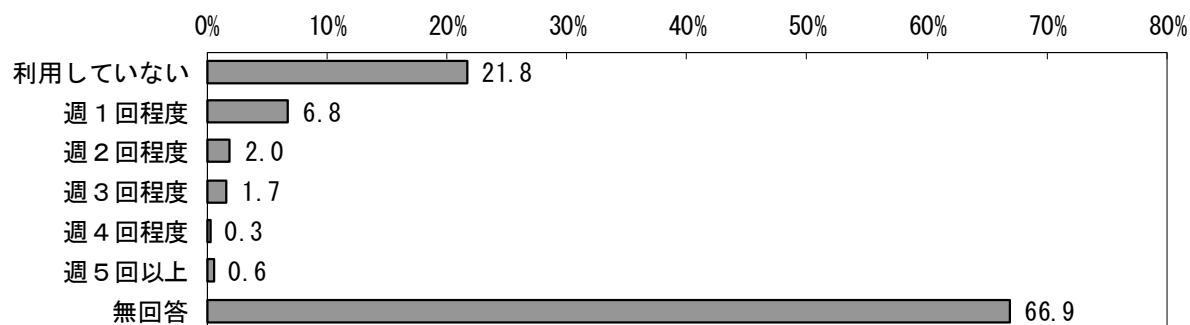
B. 訪問入浴介護

n=354



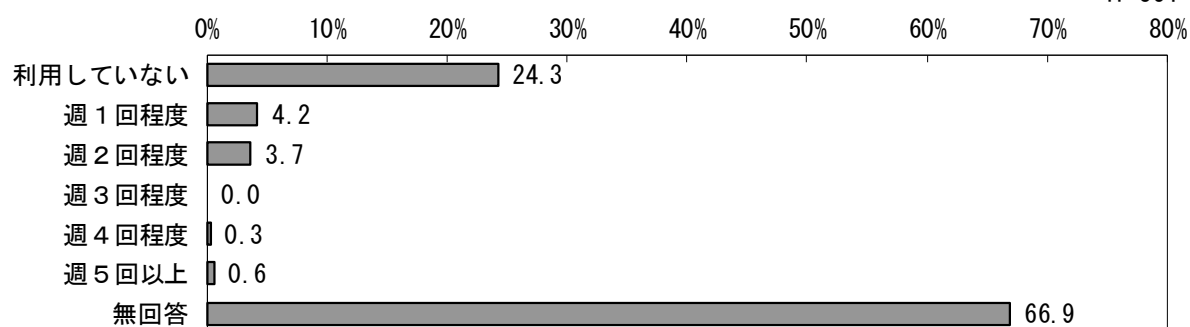
C. 訪問看護

n=354



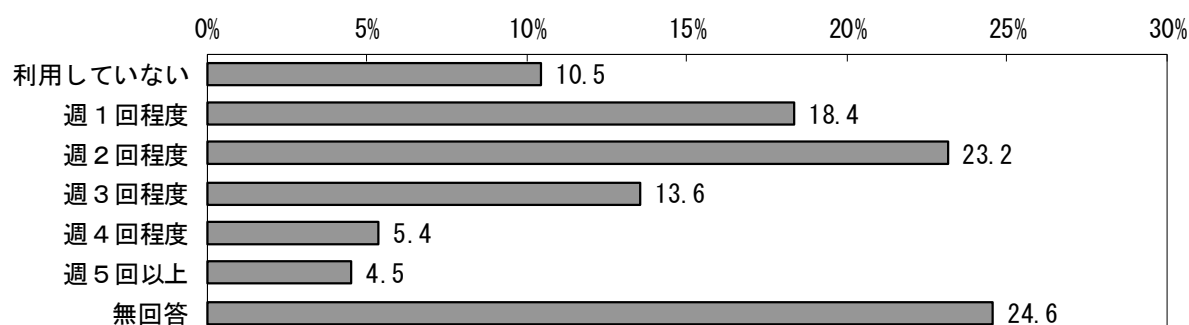
D. 訪問リハビリテーション

n=354



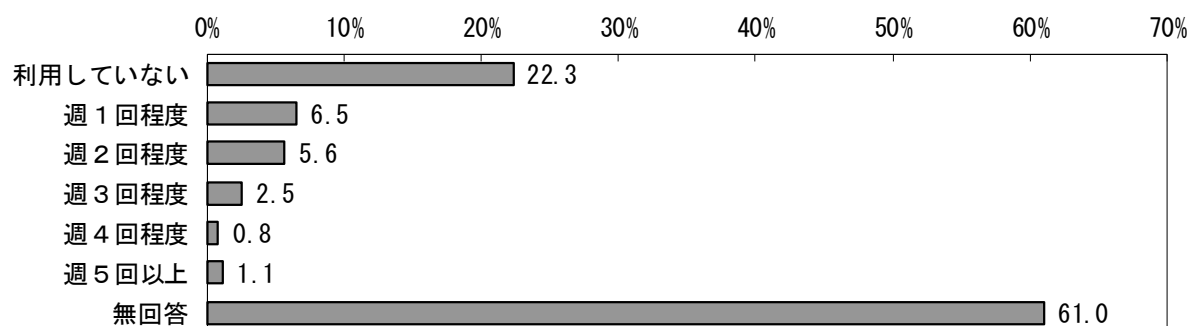
E. 通所介護（デイサービス）

n=354



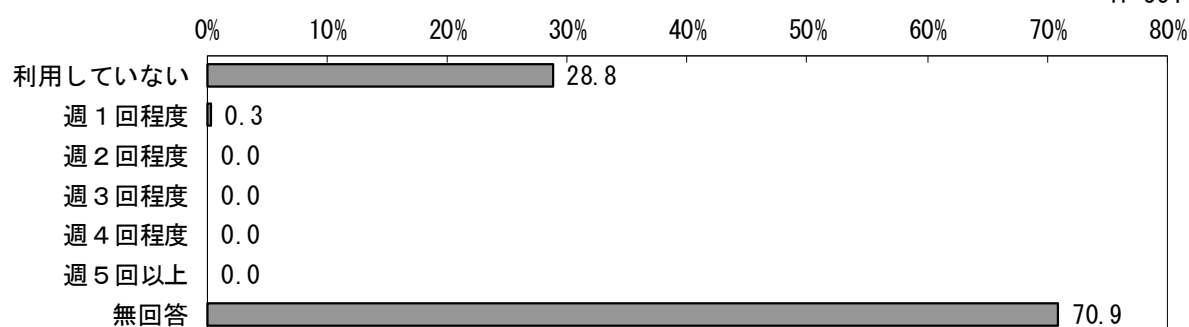
F. 通所リハビリテーション（デイケア）

n=354



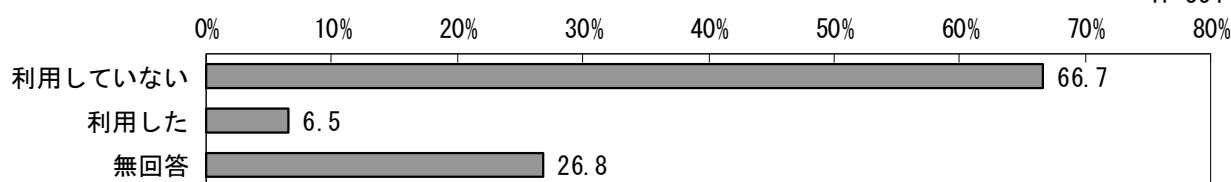
G. 夜間対応型訪問介護

n=354



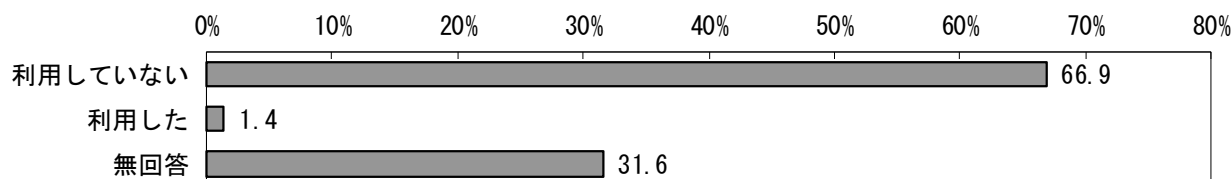
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

n=354



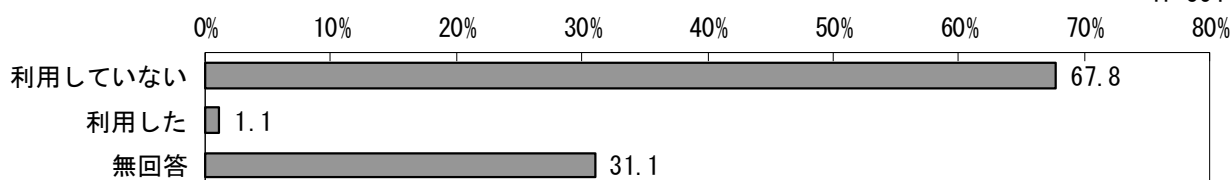
I. 小規模多機能型居宅介護

n=354



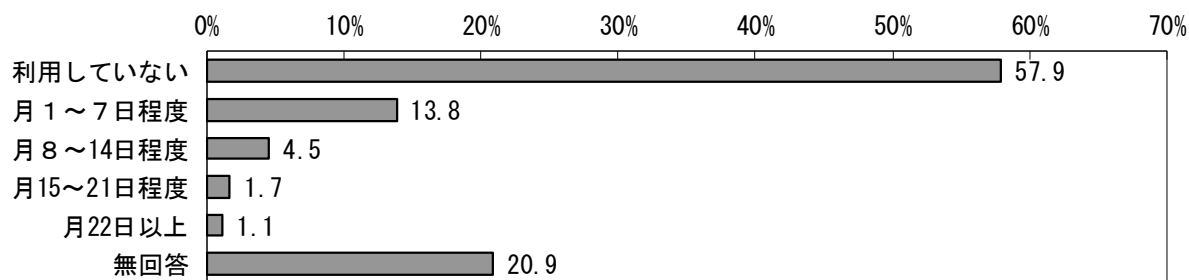
J. 看護小規模多機能型居宅介護

n=354



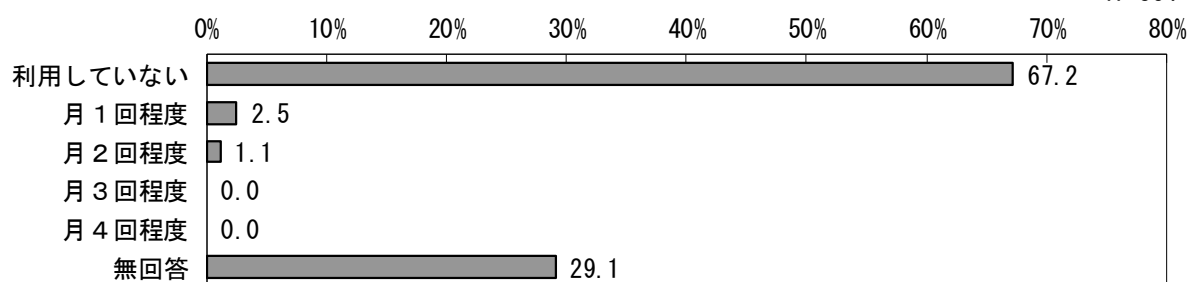
K. ショートステイ

n=354



L. 居宅療養管理指導

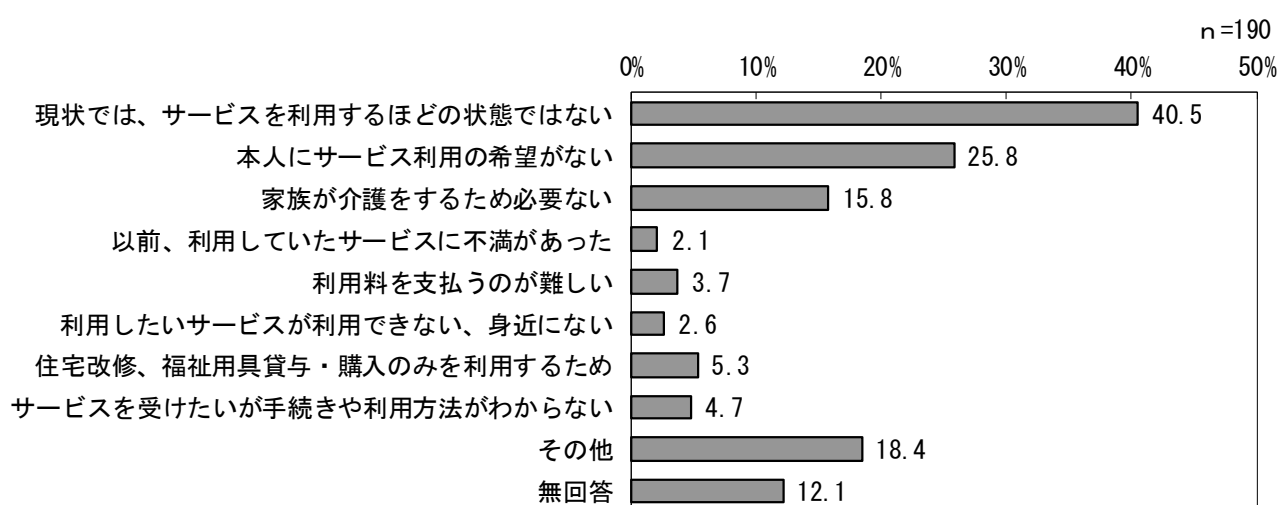
n=354



(4) サービス未利用の理由

※(2) 介護保険サービス利用の有無で「利用していない」のみ。

- 「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が40.5%と最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が25.8%となっている。
- 性別で大きな差異はみられない。
- 世帯類型では、その他は、上記2項目のいずれも、単身世帯及び夫婦のみ世帯よりも高い割合となっている。
- 要介護度では、要支援及び軽度群は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が約4割だが、中重度群は「その他」が約4割となっている。

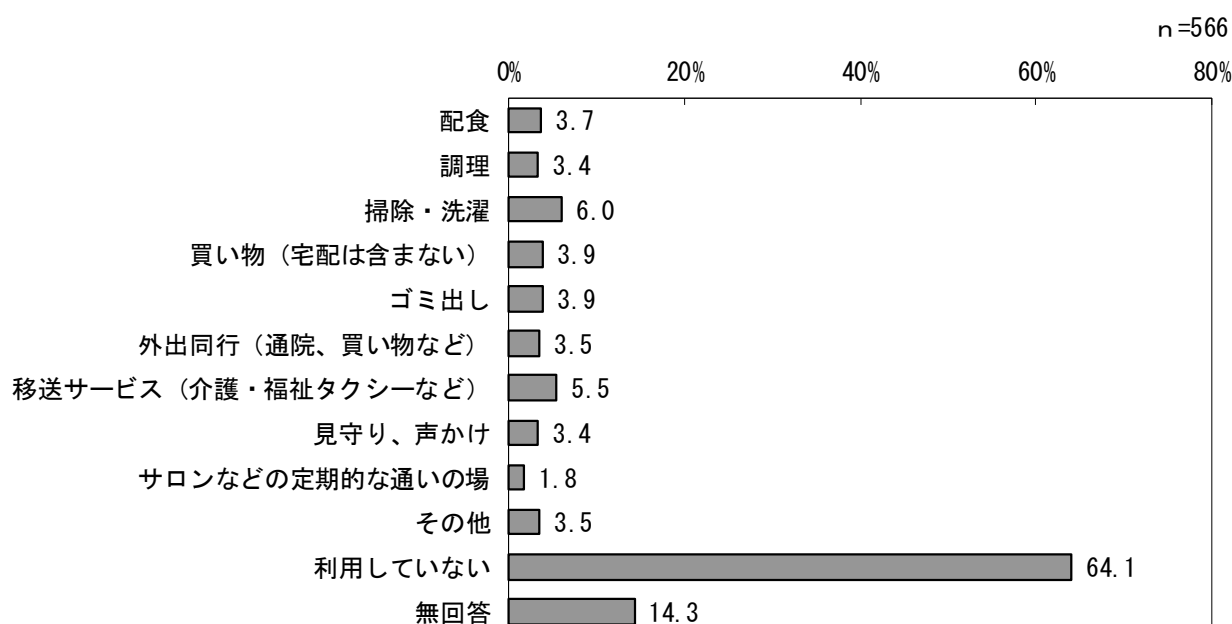


<クロス集計>

		合計	問10 サービスを利用していない理由									
			現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	その他	無回答
全体		190 100.0	77 40.5	49 25.8	30 15.8	4 2.1	7 3.7	5 2.6	10 5.3	9 4.7	35 18.4	23 12.1
性別	男性	58 100.0	24 41.4	14 24.1	8 13.8	1 1.7	2 3.4	0 0.0	4 6.9	2 3.4	12 20.7	5 8.6
	女性	130 100.0	53 40.8	35 26.9	21 16.2	3 2.3	5 3.8	5 3.8	6 4.6	7 5.4	23 17.7	17 13.1
世帯類型	単身世帯	43 100.0	15 34.9	9 20.9	4 9.3	1 2.3	2 4.7	1 2.3	1 2.3	2 4.7	7 16.3	8 18.6
	夫婦のみ世帯	33 100.0	13 39.4	7 21.2	5 15.2	2 6.1	0 0.0	1 3.0	2 6.1	2 6.1	6 18.2	4 12.1
	その他	106 100.0	46 43.4	30 28.3	19 17.9	1 0.9	5 4.7	3 2.8	7 6.6	5 4.7	22 20.8	7 6.6
要介護度	要支援群	103 100.0	45 43.7	32 31.1	9 8.7	2 1.9	4 3.9	4 3.9	3 2.9	6 5.8	14 13.6	15 14.6
	軽度群	50 100.0	22 44.0	13 26.0	14 28.0	1 2.0	1 2.0	0 0.0	5 10.0	0 0.0	10 20.0	2 4.0
	中重度群	23 100.0	3 13.0	2 8.7	6 26.1	1 4.3	2 8.7	1 4.3	1 4.3	1 4.3	10 43.5	3 13.0

(5) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用

- 「利用していない」が64.1%となっている。利用されているサービスのなかでは、「掃除・洗濯」が6.0%、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」が5.5%となっている。
- 性別では、大きな差異はない。
- 世帯類型では、多くの項目で単身世帯の利用度合いが高く、「掃除・洗濯」（17.6%）、「買い物（宅配は含まない）」（14.7%）、「配食」（13.7%）、「ゴミ出し」（11.8%）が1割台となっている。
- 要介護度では、中重度群は「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」が13.3%と、要支援及び軽度群よりも利用度合いが高い。



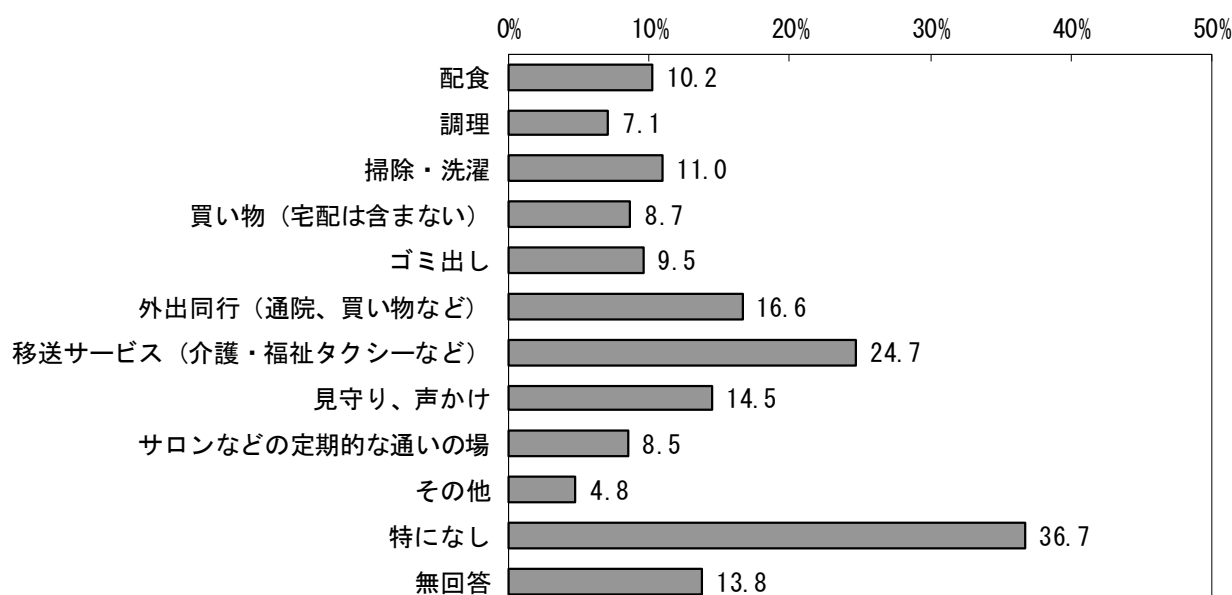
<クロス集計>

		合計	問11 利用している支援・サービス										利用して いない	無回答
			配食	調理	掃除・洗 濯	買い物 (宅配は 含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、 買い物な ど)	移送サー ビス (介 護・福祉 タクシー など)	見守り、 声かけ	サロンな どの定期 的な通い の場	その他		
全体		566 100.0	21 3.7	19 3.4	34 6.0	22 3.9	22 3.9	20 3.5	31 5.5	19 3.4	10 1.8	20 3.5	363 64.1	81 14.3
性別	男性	161 100.0	5 3.1	7 4.3	11 6.8	8 5.0	6 3.7	8 5.0	15 9.3	4 2.5	1 0.6	4 2.5	99 61.5	23 14.3
	女性	402 100.0	16 4.0	12 3.0	23 5.7	14 3.5	16 4.0	12 3.0	16 4.0	15 3.7	9 2.2	16 4.0	262 65.2	57 14.2
世帯類型	単身世帯	102 100.0	14 13.7	10 9.8	18 17.6	15 14.7	12 11.8	8 7.8	5 4.9	9 8.8	2 2.0	6 5.9	40 39.2	17 16.7
	夫婦のみ 世帯	96 100.0	4 4.2	3 3.1	8 8.3	4 4.2	5 5.2	6 6.3	4 4.2	3 3.1	3 3.1	3 3.1	57 59.4	17 17.7
	その他	346 100.0	3 0.9	6 1.7	7 2.0	3 0.9	4 1.2	5 1.4	19 5.5	7 2.0	5 1.4	11 3.2	256 74.0	40 11.6
要介護度	要支援群	214 100.0	15 7.0	10 4.7	20 9.3	12 5.6	13 6.1	10 4.7	9 4.2	10 4.7	6 2.8	6 2.8	122 57.0	34 15.9
	軽度群	208 100.0	4 1.9	6 2.9	10 4.8	7 3.4	7 3.4	9 4.3	4 1.9	7 3.4	2 1.0	9 4.3	151 72.6	25 12.0
	中重度群	120 100.0	1 0.8	3 2.5	3 2.5	1 0.8	0 0.0	0 0.0	16 13.3	1 0.8	1 0.8	3 2.5	79 65.8	18 15.0

(6) 今後必要と感じる介護保険サービス以外の支援・サービス

- 「特になし」が36.7%と最も多い。具体的なサービスとしては、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」(24.7%)、「外出同行（通院、買い物など）」(16.6%)、「見守り、声かけ」(14.5%)が上位にあげられている。
- 性別では、女性は男性よりも「見守り、声かけ」、「サロンなどの定期的な通いの場」がやや多い。
- 世帯類型では、単身世帯は他の類型よりも「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」、「見守り、声かけ」、「配食」、「掃除・洗濯」に割合が高い。
- 要介護度では、重くなるほど「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」の割合が高くなっている。

n=566

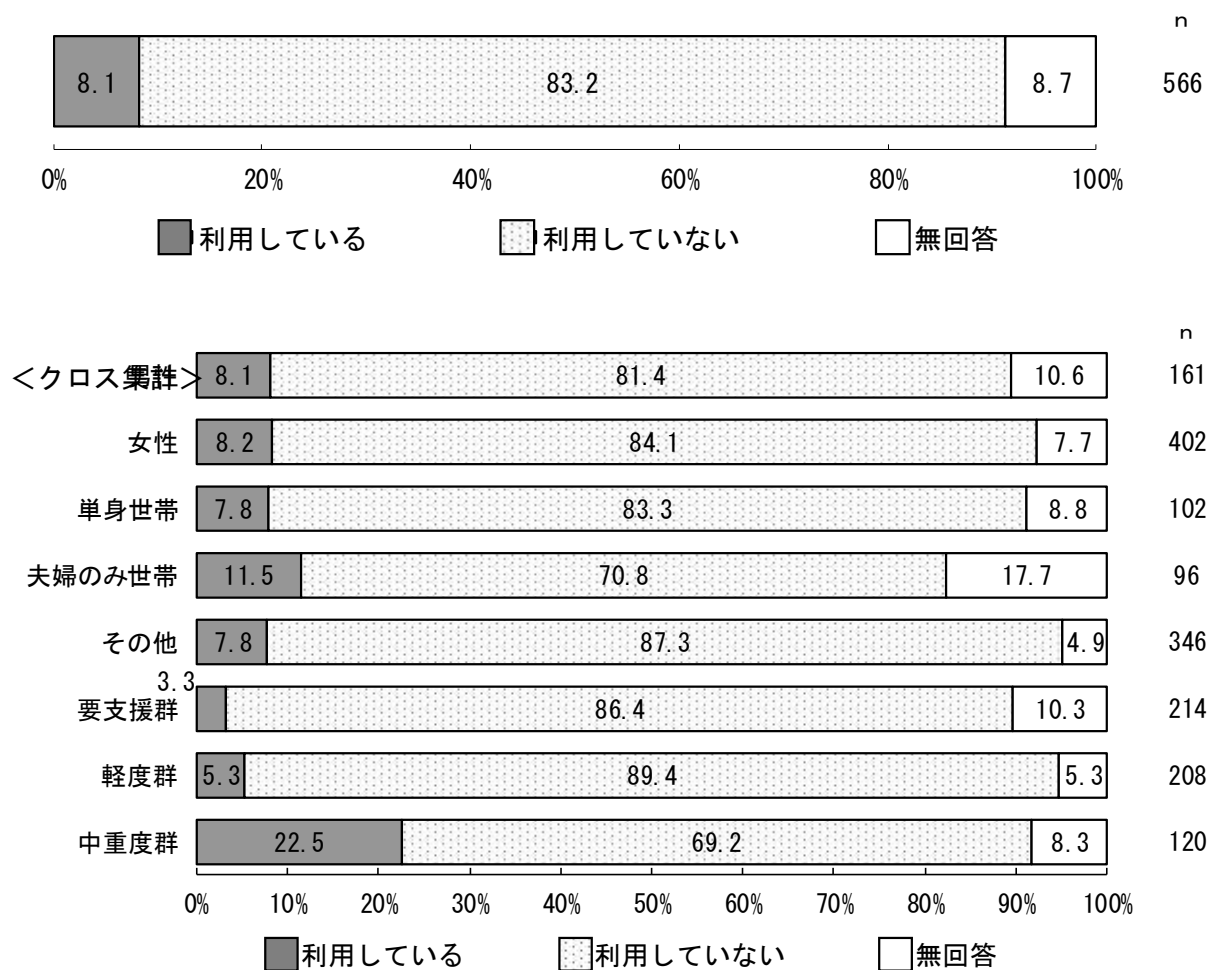


<クロス集計>

		合計	問12 必要と感じる支援・サービス											
			配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は 含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、 買い物など)	移送サー ビス (介 護・福祉 タクシー など)	見守り、 声かけ	サロンな どの定期的な 通いの場	その他	特になし	無回答
全体		566 100.0	58 10.2	40 7.1	62 11.0	49 8.7	54 9.5	94 16.6	140 24.7	82 14.5	48 8.5	27 4.8	208 36.7	78 13.8
性別	男性	161 100.0	17 10.6	11 6.8	16 9.9	17 10.6	12 7.5	25 15.5	36 22.4	16 9.9	7 4.3	6 3.7	63 39.1	26 16.1
	女性	402 100.0	41 10.2	29 7.2	46 11.4	32 8.0	42 10.4	68 16.9	103 25.6	66 16.4	41 10.2	21 5.2	144 35.8	51 12.7
世帯類型	単身世帯	102 100.0	20 19.6	15 14.7	22 21.6	18 17.6	28 27.5	23 22.5	32 31.4	25 24.5	8 7.8	3 2.9	22 21.6	14 13.7
	夫婦のみ 世帯	96 100.0	14 14.6	9 9.4	16 16.7	17 17.7	15 15.6	25 26.0	25 26.0	13 13.5	7 7.3	2 2.1	28 29.2	14 14.6
	その他	346 100.0	23 6.6	16 4.6	23 6.6	14 4.0	11 3.2	44 12.7	78 22.5	44 12.7	33 9.5	20 5.8	153 44.2	40 11.6
要介護度	要支援群	214 100.0	19 8.9	14 6.5	29 13.6	23 10.7	27 12.6	37 17.3	47 22.0	30 14.0	19 8.9	8 3.7	69 32.2	38 17.8
	軽度群	208 100.0	23 11.1	16 7.7	18 8.7	17 8.2	19 9.1	42 20.2	50 24.0	36 17.3	18 8.7	13 6.3	83 39.9	18 8.7
	中重度群	120 100.0	15 12.5	9 7.5	12 10.0	8 6.7	6 5.0	14 11.7	36 30.0	15 12.5	11 9.2	3 2.5	50 41.7	16 13.3

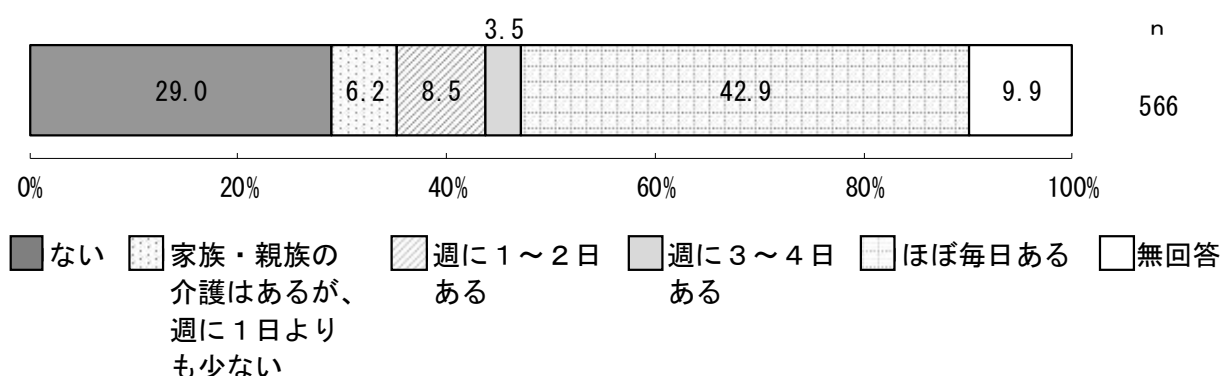
(7) 訪問診療の利用の有無

- 「利用していない」が83.2%である。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 世帯類型では、「夫婦のみ世帯」は「利用している」が11.5%と、「単身世帯」、「その他」よりも利用度合いがやや高い。
- 要介護度では、中重度群の利用度合いが高い。

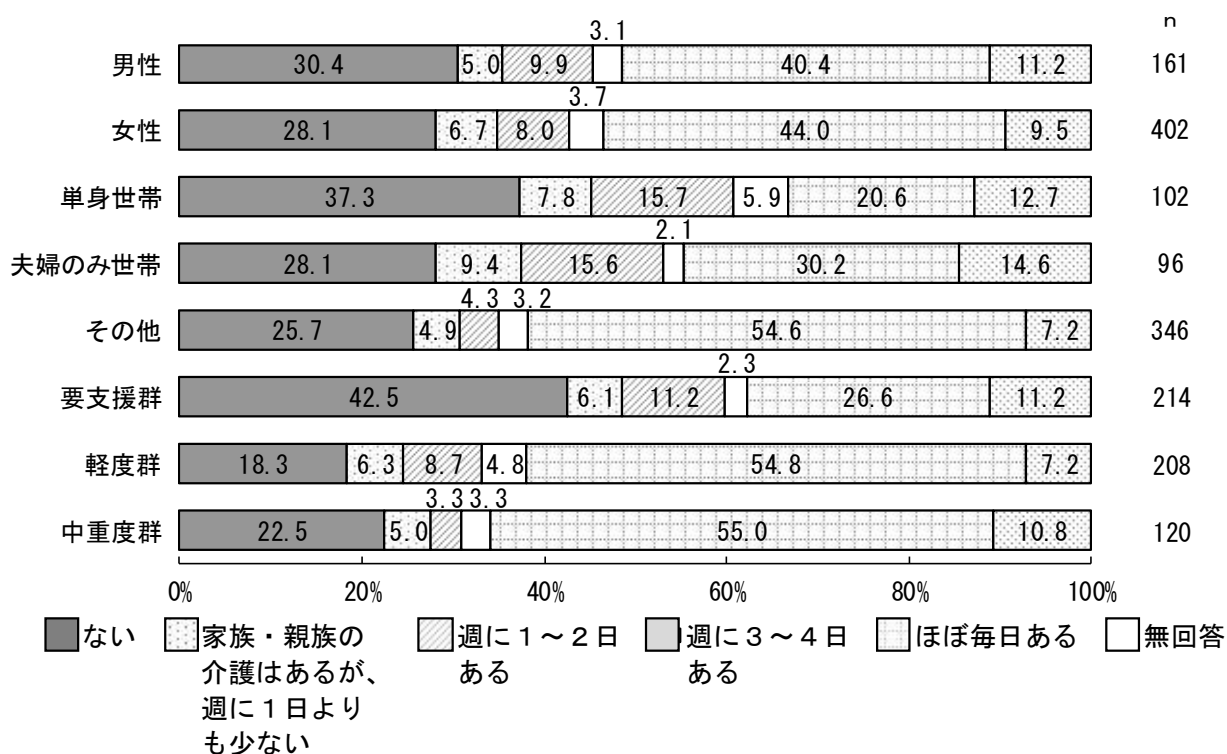


(8) 家族等の介護の有無と程度

- 「ほぼ毎日ある」が42.9%と約半数を占める一方で、「ない」が29.0%となっている。
- 性別では、大きな差異はない。
- 世帯類型では、単身世帯→夫婦のみ世帯→その他の順で、「ない」の割合が低下し、「ほぼ毎日ある」の割合が増加している。
- 要介護度では、要支援群は「ない」が42.5%であり、「ほぼ毎日ある」(26.6%)を上回る。軽度群及び中重度群も「ない」が約2割ある。



<クロス集計>

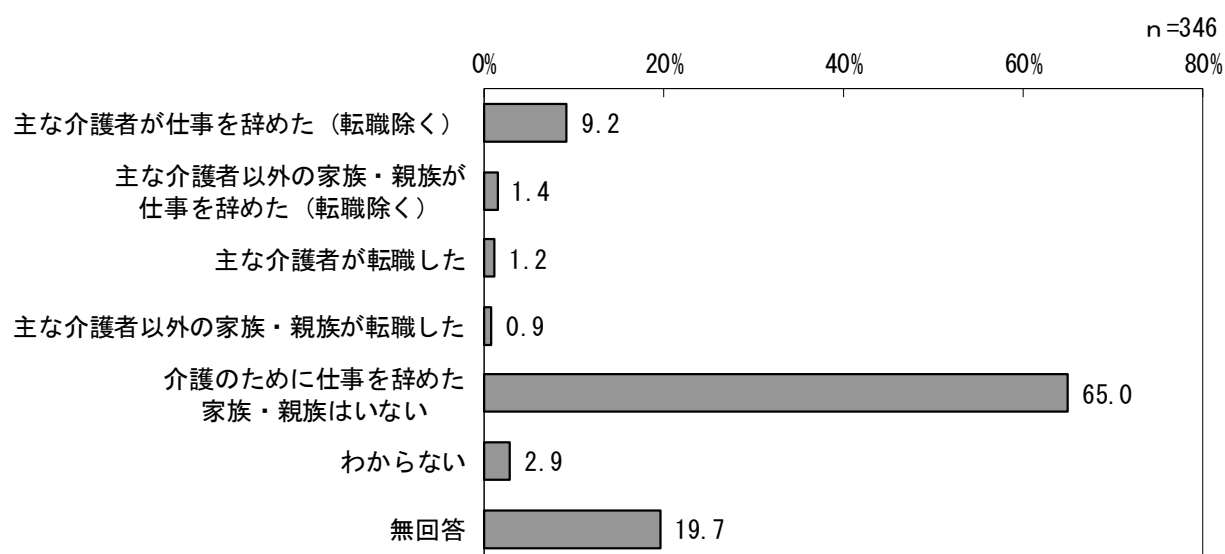


2. 主な介護者について

以下の項目は、前頁「家族等の介護の有無と程度」で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」、「週に1～2日ある」、「週に3～4日ある」及び「ほぼ毎日ある」と回答した者のみが対象となる（B票）。

（1）介護を理由とした退職の有無

- 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が65.0%と最も多い。
- 性別では女性、世帯類型ではその他、要介護度では中重度群は「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が1割台となっている。

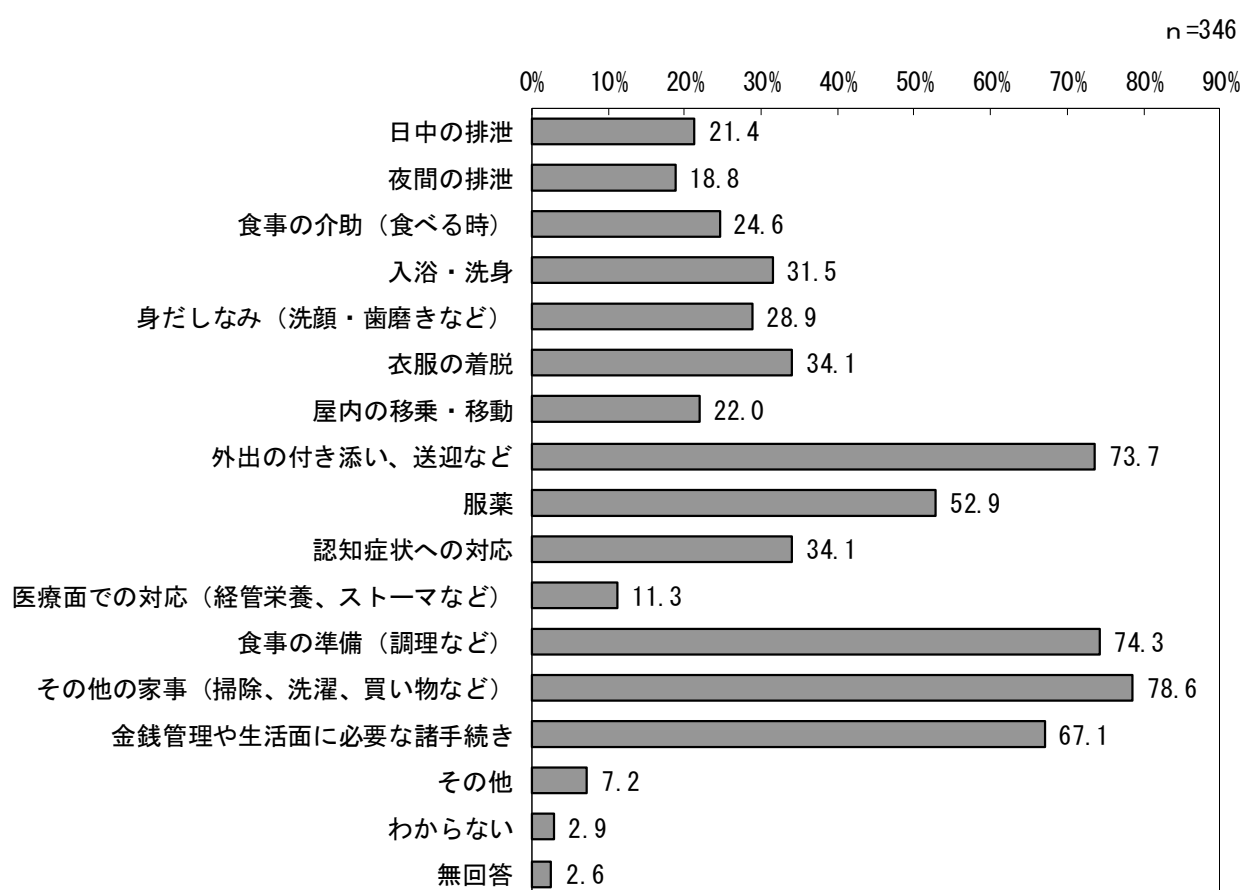


<クロス集計>

		合計	問1 介護を理由に仕事を辞めた方					
			主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない
								無回答
全体		346	32	5	4	3	225	10
		100.0	9.2	1.4	1.2	0.9	65.0	2.9
性別	男性	94	7	3	0	3	60	4
		100.0	7.4	3.2	0.0	3.2	63.8	4.3
	女性	251	25	2	4	0	164	6
		100.0	10.0	0.8	1.6	0.0	65.3	2.4
世帯類型	単身世帯	51	5	0	0	0	28	1
		100.0	9.8	0.0	0.0	0.0	54.9	2.0
	夫婦のみ世帯	55	2	1	0	2	29	4
		100.0	3.6	1.8	0.0	3.6	52.7	7.3
要介護度	その他	232	24	4	4	1	164	3
		100.0	10.3	1.7	1.7	0.4	70.7	1.3
	要支援群	99	6	2	1	0	58	2
		100.0	6.1	2.0	1.0	0.0	58.6	2.0
	軽度群	155	13	2	3	2	116	2
		100.0	8.4	1.3	1.9	1.3	74.8	1.3
	中重度群	80	13	1	0	0	47	5
		100.0	16.3	1.3	0.0	0.0	58.8	6.3

(2) 現在行っている介護

- 上位にあげられた項目は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」が78.6%、「食事の準備（調理など）」が74.3%、「外出の付き添い、送迎など」が73.7%となっている。
- 性別では、女性は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」が81.7%、男性は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」とともに「外出の付き添い、送迎など」が71.3%と最も多い。
- 世帯類型では、単身世帯とその他は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」が、夫婦のみの世帯は「外出の付き添い、送迎など」が、それぞれ最も多くなっている。
- 要介護度では、中重度群は要支援群及び軽度群に比べ「日中の排泄」、「夜間の排泄」が顕著に多い。



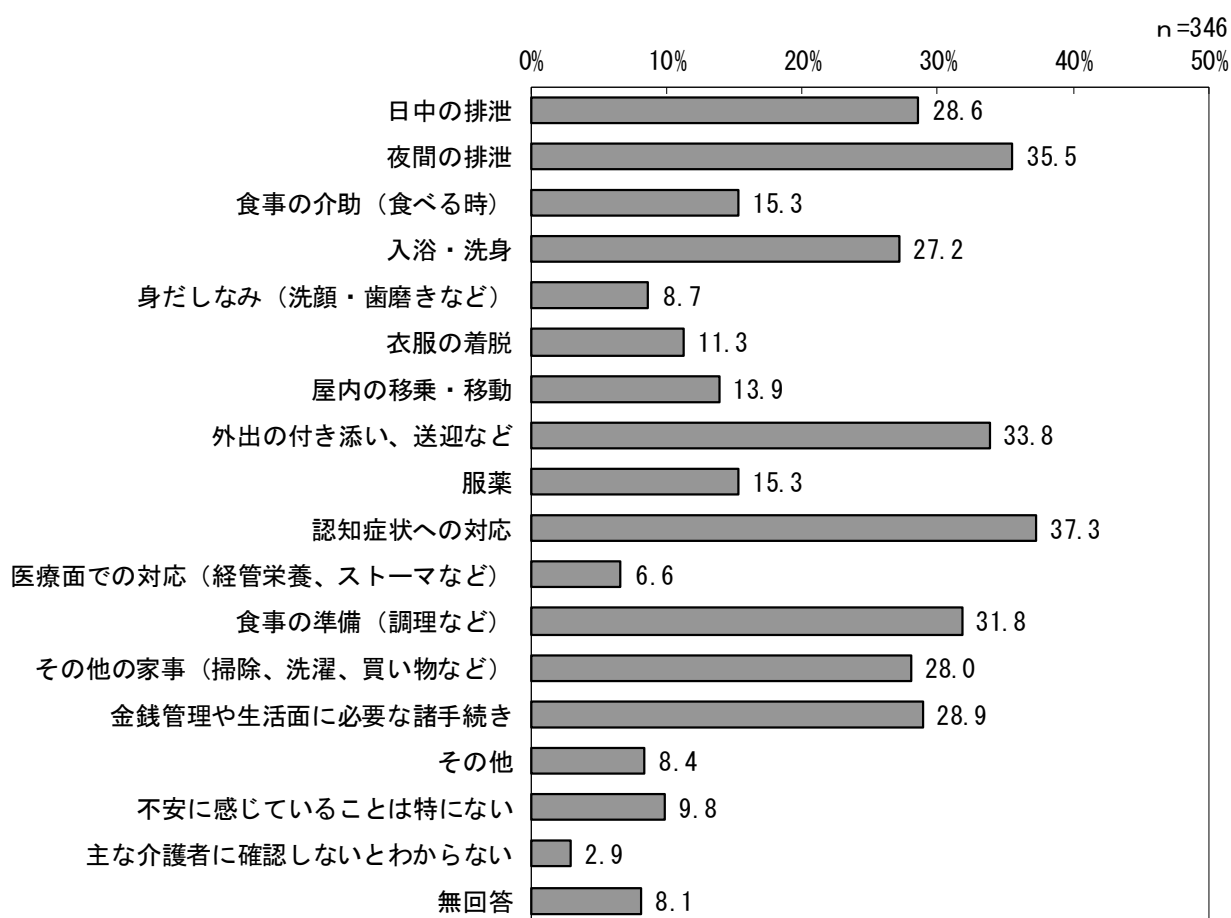
<クロス集計>

		合計	問5 行っている介護								
			日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨きなど）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎など	服薬
全体		346 100.0	74 21.4	65 18.8	85 24.6	109 31.5	100 28.9	118 34.1	76 22.0	255 73.7	183 52.9
性別	男性	94 100.0	21 22.3	21 22.3	26 27.7	30 31.9	34 36.2	38 40.4	16 17.0	67 71.3	54 57.4
	女性	251 100.0	53 21.1	44 17.5	59 23.5	79 31.5	66 26.3	80 31.9	60 23.9	187 74.5	129 51.4
世帯類型	単身世帯	51 100.0	5 9.8	3 5.9	6 11.8	8 15.7	4 7.8	8 15.7	5 9.8	36 70.6	14 27.5
	夫婦のみ世帯	55 100.0	11 20.0	10 18.2	14 25.5	17 30.9	17 30.9	19 34.5	11 20.0	41 74.5	25 45.5
	その他	232 100.0	57 24.6	51 22.0	63 27.2	81 34.9	77 33.2	87 37.5	57 24.6	171 73.7	139 59.9
要介護度	要支援群	99 100.0	8 8.1	13 13.1	12 12.1	23 23.2	12 12.1	18 18.2	8 8.1	70 70.7	24 24.2
	軽度群	155 100.0	18 11.6	15 9.7	29 18.7	57 36.8	39 25.2	49 31.6	33 21.3	132 85.2	93 60.0
	中重度群	80 100.0	48 60.0	35 43.8	43 53.8	25 31.3	48 60.0	49 61.3	33 41.3	47 58.8	63 78.8

		合計	問5 行っている介護							無回答
			認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマなど）	食事の準備（調理など）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	
全体		346 100.0	118 34.1	39 11.3	257 74.3	272 78.6	232 67.1	25 7.2	10 2.9	9 2.6
性別	男性	94 100.0	24 25.5	13 13.8	66 70.2	67 71.3	59 62.8	6 6.4	4 4.3	2 2.1
	女性	251 100.0	94 37.5	26 10.4	190 75.7	205 81.7	173 68.9	19 7.6	6 2.4	7 2.8
世帯類型	単身世帯	51 100.0	11 21.6	4 7.8	25 49.0	39 76.5	36 70.6	3 5.9	1 2.0	6 11.8
	夫婦のみ世帯	55 100.0	14 25.5	10 18.2	34 61.8	33 60.0	28 50.9	1 1.8	2 3.6	0 0.0
	その他	232 100.0	91 39.2	24 10.3	193 83.2	196 84.5	164 70.7	21 9.1	7 3.0	3 1.3
要介護度	要支援群	99 100.0	16 16.2	11 11.1	57 57.6	67 67.7	51 51.5	7 7.1	2 2.0	4 4.0
	軽度群	155 100.0	70 45.2	18 11.6	125 80.6	132 85.2	119 76.8	9 5.8	5 3.2	2 1.3
	中重度群	80 100.0	30 37.5	9 11.3	67 83.8	65 81.3	56 70.0	9 11.3	3 3.8	1 1.3

(3) 不安に感じる介護等

- 「認知症状への対応」が37.3%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が35.5%、「外出の付き添い・送迎など」が33.8%、「食事の準備（調理など）」が31.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が28.9%となっている。
- 性別では、上記5項目のうち「金銭管理」を除く4項目は、男性よりも女性に多い。
- 世帯類型では、単身世帯は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」が45.1%、その他は「認知症状への対応」が46.6%となっている。
- 要介護度では、重くなるほど「日中の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「食事の準備（調理など）」の割合が増加している。



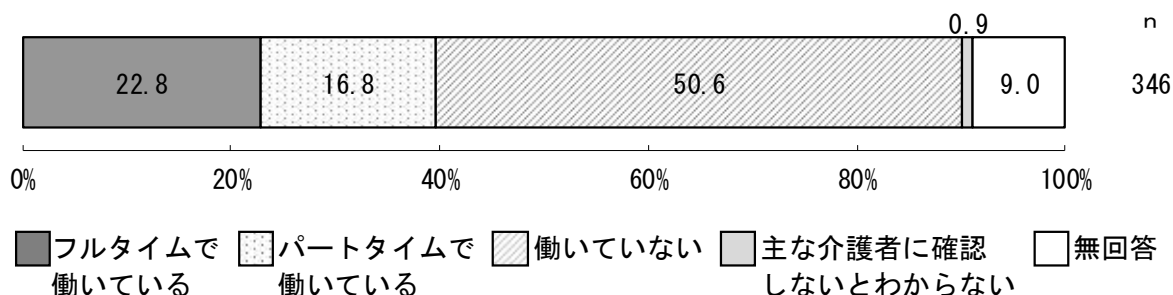
<クロス集計>

		合計	問 6 不安を感じる介護								
			日中の排 泄	夜間の排 泄	食事の介 助（食べる時）	入浴・洗 身	身だしな み（洗 顔・歯磨 きなど）	衣服の着 脱	屋内の移 乗・移動	外出の付 き添い、 送迎など	服薬
全体		346 100.0	99 28.6	123 35.5	53 15.3	94 27.2	30 8.7	39 11.3	48 13.9	117 33.8	53 15.3
性別	男性	94 100.0	23 24.5	31 33.0	13 13.8	27 28.7	5 5.3	12 12.8	10 10.6	30 31.9	11 11.7
	女性	251 100.0	76 30.3	92 36.7	40 15.9	67 26.7	25 10.0	27 10.8	38 15.1	87 34.7	42 16.7
世帯類型	単身世帯	51 100.0	9 17.6	10 19.6	5 9.8	9 17.6	1 2.0	1 2.0	9 17.6	16 31.4	5 9.8
	夫婦のみ 世帯	55 100.0	11 20.0	18 32.7	8 14.5	12 21.8	7 12.7	11 20.0	3 5.5	24 43.6	10 18.2
	その他	232 100.0	78 33.6	93 40.1	38 16.4	70 30.2	21 9.1	25 10.8	35 15.1	74 31.9	37 15.9
要介護度	要支援群	99 100.0	18 18.2	30 30.3	10 10.1	31 31.3	5 5.1	9 9.1	11 11.1	40 40.4	13 13.1
	軽度群	155 100.0	47 30.3	61 39.4	19 12.3	42 27.1	12 7.7	16 10.3	23 14.8	53 34.2	29 18.7
	中重度群	80 100.0	31 38.8	29 36.3	23 28.8	20 25.0	12 15.0	14 17.5	12 15.0	19 23.8	10 12.5

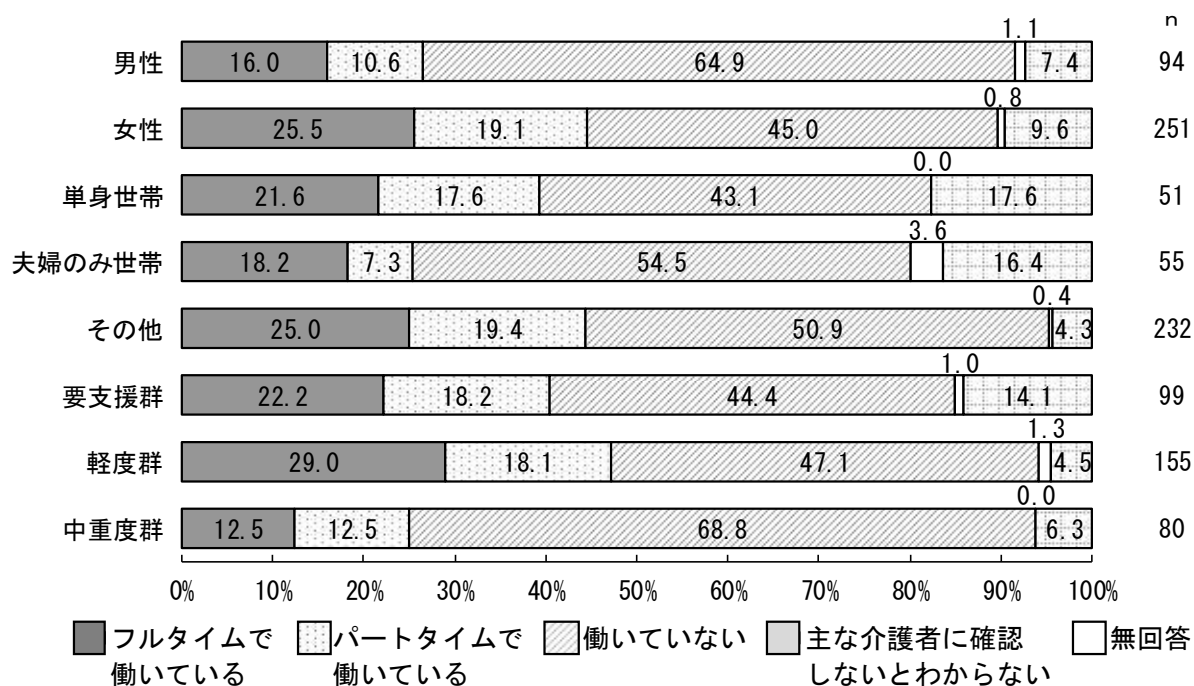
		合計	問6 不安を感じる介護								
			認知症状 への対応	医療面で の対応 (経管栄 養、ス トーマな ど)	食事の準 備 (調理 など)	その他の 家事 (掃 除、洗 濯、買い 物など)	金銭管理 や生活面 に必要な 諸手続き	その他	不安に感 じている ことは特 にない	主な介護 者に確認 しないと わからない	無回答
全体		346 100.0	129 37.3	23 6.6	110 31.8	97 28.0	100 28.9	29 8.4	34 9.8	10 2.9	28 8.1
性別	男性	94 100.0	28 29.8	6 6.4	19 20.2	19 20.2	29 30.9	7 7.4	12 12.8	5 5.3	8 8.5
	女性	251 100.0	101 40.2	17 6.8	91 36.3	78 31.1	71 28.3	22 8.8	22 8.8	5 2.0	19 7.6
世帯類型	単身世帯	51 100.0	11 21.6	4 7.8	17 33.3	23 45.1	19 37.3	2 3.9	6 11.8	3 5.9	7 13.7
	夫婦のみ 世帯	55 100.0	9 16.4	2 3.6	16 29.1	18 32.7	19 34.5	4 7.3	4 7.3	1 1.8	4 7.3
	その他	232 100.0	108 46.6	16 6.9	74 31.9	53 22.8	57 24.6	22 9.5	22 9.5	5 2.2	16 6.9
要介護度	要支援群	99 100.0	23 23.2	7 7.1	28 28.3	26 26.3	24 24.2	8 8.1	10 10.1	8 8.1	10 10.1
	軽度群	155 100.0	72 46.5	11 7.1	50 32.3	48 31.0	53 34.2	13 8.4	14 9.0	1 0.6	10 6.5
	中重度群	80 100.0	30 37.5	5 6.3	29 36.3	19 23.8	19 23.8	8 10.0	10 12.5	1 1.3	5 6.3

(4) 現在の勤務形態

- 「働いていない」が50.6%と最も多く、「フルタイムで働いている」は22.8%、「パートタイムで働いている」は16.8%となっている。
- 性別では女性、世帯類型では単身世帯とその他、要介護度では要支援と軽度は、「フルタイム」の回答が2割台であり相対的にやや多い。



<クロス集計>

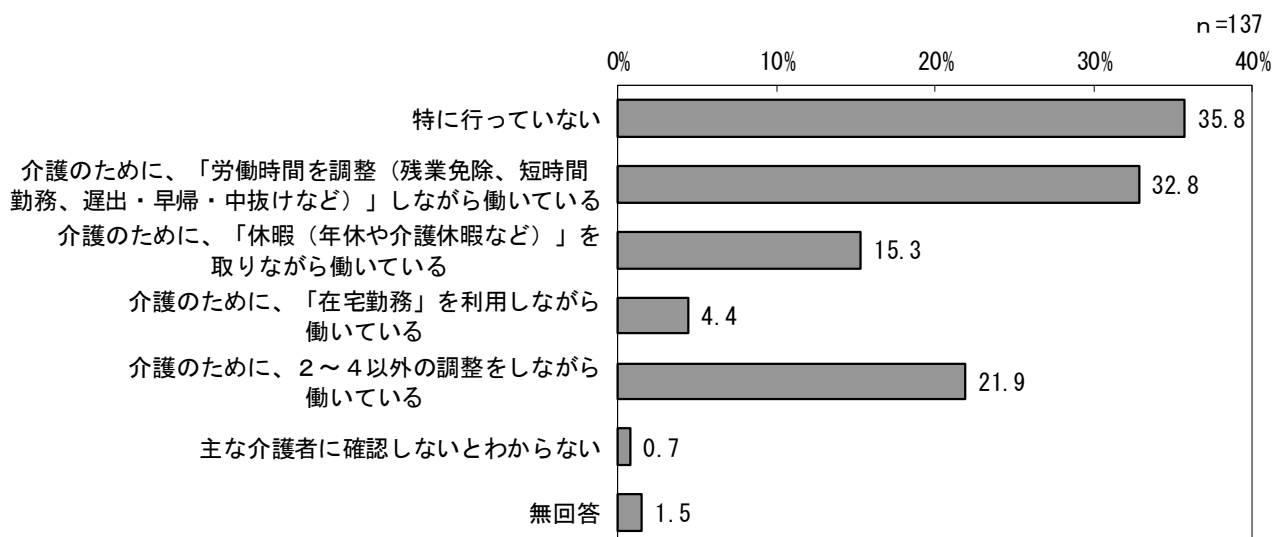


(5) 働き方の調整等

■「特に行っていない」が35.8%と最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら、働いている」が32.8%となっている。

■性別では、女性は男性よりも「労働時間を調整」が約10ポイント多い

■世帯類型では単身世帯、要介護度では要支援群と中重度群は「特に行っていない」がやや多い。

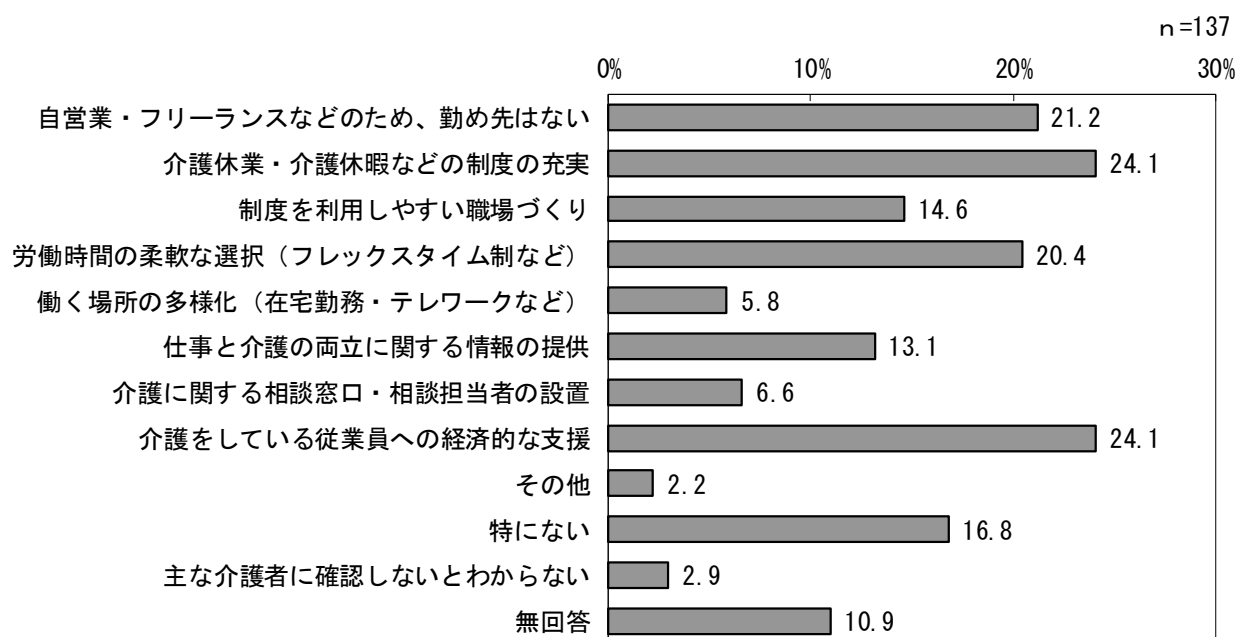


<クロス集計>

		合計	問8 介護するにあたっての調整等						
			特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）」しながら働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇など）」を取りながら働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら働いている	主な介護者に確認しないとわからない	無回答
全体		137	49	45	21	6	30	1	2
		100.0	35.8	32.8	15.3	4.4	21.9	0.7	1.5
性別	男性	25	9	6	4	2	6	0	0
		100.0	36.0	24.0	16.0	8.0	24.0	0.0	0.0
	女性	112	40	39	17	4	24	1	2
		100.0	35.7	34.8	15.2	3.6	21.4	0.9	1.8
世帯類型	単身世帯	20	9	5	1	0	4	0	1
		100.0	45.0	25.0	5.0	0.0	20.0	0.0	5.0
	夫婦のみ世帯	14	5	3	2	2	3	1	0
	その他	103	35	37	18	4	23	0	1
		100.0	34.0	35.9	17.5	3.9	22.3	0.0	1.0
要介護度	要支援群	40	19	10	7	1	4	1	2
		100.0	47.5	25.0	17.5	2.5	10.0	2.5	5.0
	軽度群	73	21	27	12	3	20	0	0
		100.0	28.8	37.0	16.4	4.1	27.4	0.0	0.0
	中重度群	20	9	8	1	2	3	0	0
		100.0	45.0	40.0	5.0	10.0	15.0	0.0	0.0

(6) 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤務先の支援

- 具体的な支援としては、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」及び「介護をしている従業員への経済的な支援」が24.1%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制等）」が20.4%と上位にあげられている。「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」は21.2%となっている。
- 性別では、女性は「自営業等、勤め先はない」、「制度の充実」、「経済的な支援」が男性よりやや多い。
- 世帯類型ではその他、要介護度では中重度群は「自営業等、勤め先はない」がやや多い。

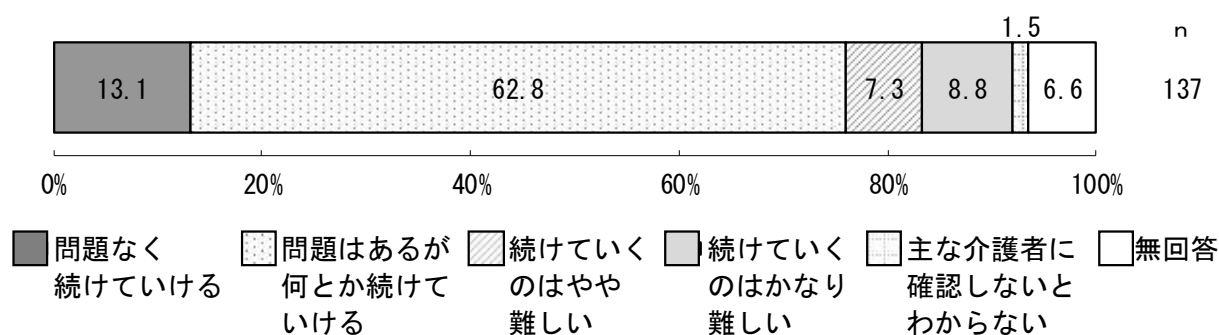


<クロス集計>

		問9 効果のある勤め先からの支援												
合計		自営業・フリーランスなどのため、勤め先はない	介護休業・介護休暇などの制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しないとわからない	無回答	
全体		137 100.0	29 21.2	33 24.1	20 14.6	28 20.4	8 5.8	18 13.1	9 6.6	33 24.1	3 2.2	23 16.8	4 2.9	15 10.9
性別	男性	25 100.0	4 16.0	5 20.0	3 12.0	5 20.0	0 0.0	3 12.0	1 4.0	4 16.0	1 4.0	6 24.0	1 4.0	2 8.0
	女性	112 100.0	25 22.3	28 25.0	17 15.2	23 20.5	8 7.1	15 13.4	8 7.1	29 25.9	2 1.8	17 15.2	3 2.7	13 11.6
世帯類型	単身世帯	20 100.0	2 10.0	3 15.0	2 10.0	5 25.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	5 25.0	1 5.0	5 25.0	0 0.0	4 20.0
	夫婦のみ世帯	14 100.0	2 14.3	5 35.7	1 7.1	5 35.7	0 0.0	2 14.3	0 0.0	3 21.4	0 0.0	1 7.1	2 14.3	2 14.3
	その他	103 100.0	25 24.3	25 24.3	17 16.5	18 17.5	7 6.8	16 15.5	9 8.7	25 24.3	2 1.9	17 16.5	2 1.9	9 8.7
要介護度	要支援群	40 100.0	6 15.0	8 20.0	8 20.0	8 20.0	2 5.0	4 10.0	4 10.0	6 15.0	0 0.0	10 25.0	2 5.0	5 12.5
	軽度群	73 100.0	16 21.9	19 26.0	9 12.3	15 20.5	6 8.2	9 12.3	4 5.5	22 30.1	3 4.1	12 16.4	2 2.7	6 8.2
	中重度群	20 100.0	7 35.0	5 25.0	3 15.0	5 25.0	0 0.0	4 20.0	1 5.0	5 25.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	2 10.0

(7) 働きながらの介護継続の見込み

- 「問題はあるが何とか続けていける」が62.8%と最も多く、「問題なく続けていける」(13.1%)と合わせておよそ4分の3は継続可能と見込んでいる。一方で、「続けていくのはやや難しい」が7.3%、「続けていくのはかなり難しい」が8.8%であり、2割弱が継続困難と見込んでいる。
- 「続けていくのはやや難しい」が多くあげられているのは、性別では女性、世帯類型ではその他、要介護度では軽度群となっている。



<クロス集計>

